

令和7年度第1回 朝霞市都市計画審議会 次第

日時 令和7年5月16日（金曜日）

午後2時00分から5時00分（予定）

場所 朝霞市役所 別館2階 第一委員会室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- ・議案第1号 朝霞市都市計画マスタープランの策定について

4 その他（報告事項）

- ・報告事項第1号 朝霞都市計画生産緑地地区の変更について（経過報告）
- ・報告事項第2号 朝霞都市計画道路黒目川通線の都市計画変更について

5 閉 会

議案第 1 号

朝霞市都市計画マスタープランの策定について

■資料の概要と都市計画審議会に向けてご確認いただきたい事項

【資料１】

- ・ 前回の都市計画審議会と庁内検討委員会でいただいたご意見とその対応方針をまとめたものです。

【資料２】

- ・ 都市マスの目次に当たる全体の構想を新たに作成しましたので都市マスの見取り図と合わせてご確認ください。

【資料３】

- ・ 方針図と将来都市構造図の関係性の考え方に問題がないかご確認ください。

○各テーマの方針図

今後予定されている地域別構想の検討に伴い、「実現に向けた取組（案）」を修正することを前提に、方針図に過不足はないかご確認ください。なお、資料の最後にこれまで議論した各テーマの目標とストーリーを掲載していますので、参考に御覧ください。

○将来都市構造図

各テーマの方針図を踏まえ、他に地図に落とし込むべき拠点やゾーンがないか、今後２０年を見据えた将来都市構造となっているかについてご意見をいただきたいです。

【資料４、参考資料２、参考資料３】

- ・ まちづくりサロンの概要と４月２６日の開催結果について取りまとめました。

【参考資料１】

- ・ 策定スケジュールを更新しました。

前回都市計画審議会の振り返りと対応

(1) 前回都市計画審議会で頂いたご意見とその対応方針

< 令和 6 年度第 5 回朝霞市都市計画審議会 >

日時：令和 7 年 3 月 12 日（水）14：00～16：20

場所：朝霞市民会館 梅会議室

1) まちづくりのテーマの方針と取組

ご意見（要約）	対応方針
●まちづくりのテーマの方針と取組	
各テーマの取組を「大柱」「小柱」「主な取組」の項目で整理しているが、わかりやすい表現に工夫してほしい	各テーマの取組の整理について、表現を見直した。（資料 3 参照）
各テーマの「主な取組」において、具体的な取組と抽象的な取組が混在しておりわかりづらい。	地域別構想の検討において、各地域における具体的な取組を整理していくことになるため、その結果を踏まえ再整理する。
「主な取組」について、市民がイメージしやすいよう、現在取り組んでいるもの（わくわくワゴン等）を記載できるとよい	
全ての取組が一気にできるわけではない。そのため取組の優先順位や時間軸が見えるように整理されるとよい	個別計画で定められないもの、定めのないもの等含め、実施計画等において位置付けを進める。
●各テーマの方針図について	
各テーマの方針図について、位置付けられている取組が表現されているものとされていないものがあり、方針図で取組内容が網羅できるとよい（文章を読まなくても、各テーマで取り組む内容が方針図から読み取れるように）	前回提示した取組をベースとして、方針図を更新した。今後、地域別の検討を踏まえ方針図も更新していく。
●その他	
全体構想がどのように冊子として整理されるのか、全体像が見えない。また、将来都市構造図と各テーマの方針図がどのような関係性になるのかイメージできない。	全体構想の構成や将来都市構造図とテーマの方針図との関係性、将来都市構造図案について、資料 2 及び資料 3 に整理した。
全体的に文字が多く、見せ方を工夫した方がよい。表やアイコンを活用するなど、外国人に説明するつもりで資料を作成することを意識すると、市民に分かりやすい資料になると思う	ご指摘を踏まえ、本編の整理においては市民へのわかりやすさを意識して整理することとする。また、計画書と概要版の役割分担をするなど見せ方の表現も検討する。
県が管理している道路など、市が単独で実施できない取組があるが、県や国への働きかけや協力はどのようにするのか。	市として将来像の実現において必要な事項は計画に位置づけるとともに、整備に向けては各管理者と連携しながら進めていくことになる。

2) あさかまちづくりサロン（地域版）

ご意見（要約）	対応方針
各地域の住民がサロンに参加しやすいよう、会場を集約するのではなく、各地域で実施してもらいたい	4/26の初回より地域別に会場を設け、サロンを実施することに変更した。最終回においては全体共有のため会場を1カ所にすることを想定している。
1回目に参加できない人もいるので、1回目の議題について事前に意見徴収し、初回ではその結果を共有した上で意見交換できるとよい	「775MARKET at 朝霞シンボルロード」でブースを設置し、訪問者に意見聴取を行う。また、1回目サロンには参加できないが、2回目以降参加予定の方には、個別に連絡し、1回目の議題についての意見を事前に確認する。
市HPを見ても、各回でどんな意見交換をするのかわからない。人を集める方法を再検討してもらいたい	ご指摘を踏まえ、市HPを更新するとともに、チラシを作成し配布や掲示することとした。参考資料2を参照。

（2）第6回庁内検討委員会での意見とその対応状況の共有

<第6回庁内検討委員会>

日時：令和7年4月25日（金）13：30～15：00

場所：朝霞市役所 別館5階 501会議室

ご意見（要約）	対応方針
【全体構想を構成する項目の関係性（見取り図）】 項目の関係性を矢印で示しているが、見た目をすっきりさせてシンプルに見せた方がわかりやすい。	項目の関係性をシンプルにわかりやすくなるよう表現を見直した。（資料2参照）
【将来都市構造図】 将来都市構造図は、方針図を単純に重ねたものではなく、方針図を重ねたときの軸やエリアを改めて言及したものである。将来都市構造図の拠点や軸と検討内容のイメージが合うように整理する必要がある。	テーマの方針図と将来都市構造図の関係性がわかりやすいよう、資料で示す順番を「方針図⇒将来都市構造図」に入れ替えるとともに、方針図が出来上がるプロセスを丁寧に説明するよう見直した。（資料3参照）
【テーマの方針図】 「快適な移動」の方針図について、道路基本整備計画に合わせて幹線道路と補助幹線道路を分けて表現していただきたい。	今後表現を改める。
【テーマの方針図】 方針図で示す情報が多く、旗揚げの文字が小さくなってしまい見えづらい。また、旗揚げの文言で取組内容が読み取れないものもある。	ご指摘を踏まえ、文字の大きさや旗揚げの文言を見直し、方針図から取組内容が読み取れるよう表現を工夫した。今後引き続き方針図の表現を更新予定。（資料3参照）

朝霞市都市計画マスタープランの構成と全体構想を構成する項目の関係性

(1) 朝霞市都市計画マスタープランの構成と全体構想の範囲

都市マスの構成	記載内容
序章 朝霞市都市計画マスタープランの目的と位置づけ	
1.朝霞市都市計画マスタープランとは	・ 計画の概要と目的
2.計画の位置付け	・ 計画の上位関連計画との関係性
3.計画の対象範囲	・ 計画の対象範囲（市域全域）
4.計画の目標年次	・ 計画の目標年次（概ね 20 年後の 2045 年）
5.計画の構成	・ 計画の章立て
第 1 章 朝霞市のまちづくりに求められること	
1.上位計画における位置づけ	・ 県や市の上位計画における位置づけ
2.市民の意向	・ アンケートやサロンでの意見
3.朝霞市を取り巻く社会動向	・ 人口減少と高齢化の進行、生活の質の重視、安全・安心に対する意識の高まりなどの社会動向 ※朝霞市の現状にも触れる
第 2 章 朝霞市が目指すまちづくりの将来像と取り組むまちづくりのテーマ	
1.朝霞市が目指すまちづくりの将来像と将来都市構造	・ 市が目指すまちづくりの将来像と将来都市構造
2.将来像の実現に向けて取り組むまちづくりのテーマ	・ 5 つのまちづくりのテーマの設定の考え方
第 3 章 テーマ別まちづくりの方針	
テーマ 1 私らしい暮らし	・ 5 つのテーマごとに方針と方針図、取組の柱、取組の柱に対応した主な施策の例示 全体構想の範囲
テーマ 2 にぎわい・活力	
テーマ 3 快適な移動	
テーマ 4 持続可能	
テーマ 5 安全・安心	
第 4 章 地域別まちづくりの方針	
1.地域区分	・ 地域区分の考え方
2.内間木地域	・ 5 つの地域ごとに方針、方針図、各テーマに応じた取組内容
3.北部地域	
4.東部地域	
5.西部地域	
6.南部地域	
第 5 章 計画の推進に向けて	
・ 役割分担や進め方	
参考資料	・ 朝霞市の現状や現行計画に対する評価

＜朝霞市が目指す将来像＞ 第1章

①総合計画アンケート（朝霞市に住み続けたい理由 等）

②都市マスアンケート（住まいの近くや駅周辺等のエリアに求める機能等）

③まちづくりサロン（全5回：暮らしのサロン／高校生サロン／駅周辺サロン）

＜朝霞市を取り巻く社会動向＞ 第1章

- ①人口減少と高齢化の進行
- ②コロナを契機とした社会変革の進展
- ③人生 100 年時代の到来と QOL
(生活の質) の重視
- ④既存のモビリティの進化や新たなモビ
リティの創出など移動手段の多様化
- ⑤社会的包摂と多様性の尊重
- ⑥安全・安心な暮らしに対する意
識の高まり
- ⑦持続可能な社会構築に向けた取
組の進展
- ⑧DX(デジタル・トランスフォー
メーション)の進展

●方針

第3章

- ①市街地と自然をつなぐ、選択肢のある住環境を整える
 - ②暮らしを支える生活サービスの質を高める
 - ③自分らしくいられる場や活躍できる場をつくる

-

- ①にぎわいと活力のある駅前拠点をつくる . . .

②安心して生活活動ができる環境を整える . . .

③立地特性を活かして戦略的に産業を誘致・育成を図る . . .

-

- ① まちの骨格となる幹線道路の交通流を円滑にする

② 身近な生活道路の安全を守る

③ 自由な移動を支える

-

- | 年齢層 | 必要だと感じる | 必要としない |
|-----|---------|--------|
| 20代 | 85% | 15% |
| 30代 | 80% | 20% |
| 40代 | 75% | 25% |
| 50代 | 70% | 30% |
| 60代 | 65% | 35% |
| 70代 | 60% | 40% |
| 80代 | 55% | 45% |

-

- ①災害に備える → ②災害が発生しても円滑に復旧できる準備を整える → ③日頃の生活から「もしも」を見据えた環境をつくる

●現況整理：人口・世帯数／土地利用／交通体系／産業動向／市街地動向／都市基盤整備／防災／財政／市民意識調査

●施策の進捗状況：現行計画に位置づけられた取組の進捗状況

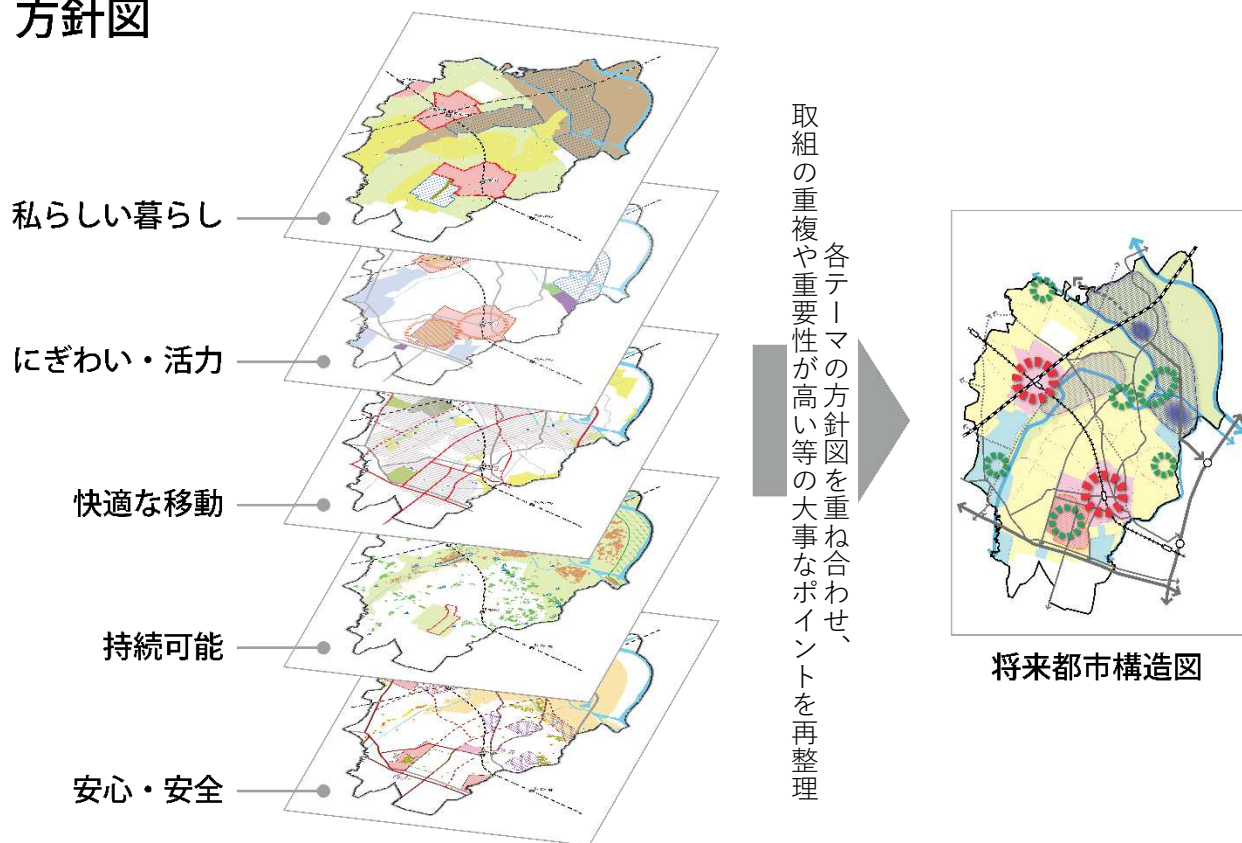
次期都市計画マスタープランの将来像と将来都市構造、テーマ別方針図

(1) 将来都市構造図と各テーマの方針図の関係性

	将来都市構造図	各テーマの方針図
役割・目的	・将来像を踏まえ、その実現に向けた都市の骨格となる都市構造（拠点、都市軸、ゾーン）を示したもの ・将来都市構造図に表現する都市構造は、各テーマの方針図の重ね合わせにより、取組が重複している、将来像の実現において重要度が高い等の大事なポイントを再整理したもの	・将来像の実現に向けた5つのテーマにおける取組を、テーマごとに地図上に表現したもの

■将来都市構造図と各テーマの方針図の関係性のイメージ

方針図



(2) 朝霞市の目指すまちづくりの将来像

まちづくりの将来像は、朝霞市都市計画マスタープランの策定から概ね 20 年度に向けて、本市が目指す将来イメージを示すものである。ここでは、まちづくりにあたっての基本的な考え方と、まちづくりを進める上での統一的な目標概念となる「将来像」を設定する。

本計画の策定では、同時期に第 6 次朝霞市総合計画が策定されることから、相互の連携をより深めることが重要と考え、同じ将来像（ビジョン）を掲げる。

< 将来像 >

だれもが誇れる 暮らしつづけたいまち 朝霞

朝霞市は、武蔵野台地に育まれた緑と水辺に恵まれ、交通利便性の高い東京近郊の住宅都市として発展し、市制施行時に約 5 万 5 千人だった人口は、これまで増加を続け、令和 7 年（2025 年）には約 14 万 6 千人を有する都市に成長してきた。

これからも、朝霞市の強みである生活利便性や安全性、恵まれた自然環境、朝霞市民まつり「彩夏祭」に代表される文化などを、未来に継承していく。

さらには、近年希薄化しつつある人と人とのつながりの再生や、協働によるまちづくりの活性化を通じ、第 5 次総合計画の将来像として掲げた『暮らしつづけたいまち』をさらに洗練することで、誰にとっても魅力的で誇りを持てる、住みやすいまちを目指す。

< 将来像実現のための基本方向 >

安全に、安心して
暮らせるまち

自分らしく学び
育ち、心地よく
暮らせるまち

快適に暮らせる、
にぎわいのある
まち

< 将来像実現のための共通理念 >

多様性を尊重し、
認め合い助け合っ
てまちをつくる

主体的に参画し、
愛着をもって
まちをつくる

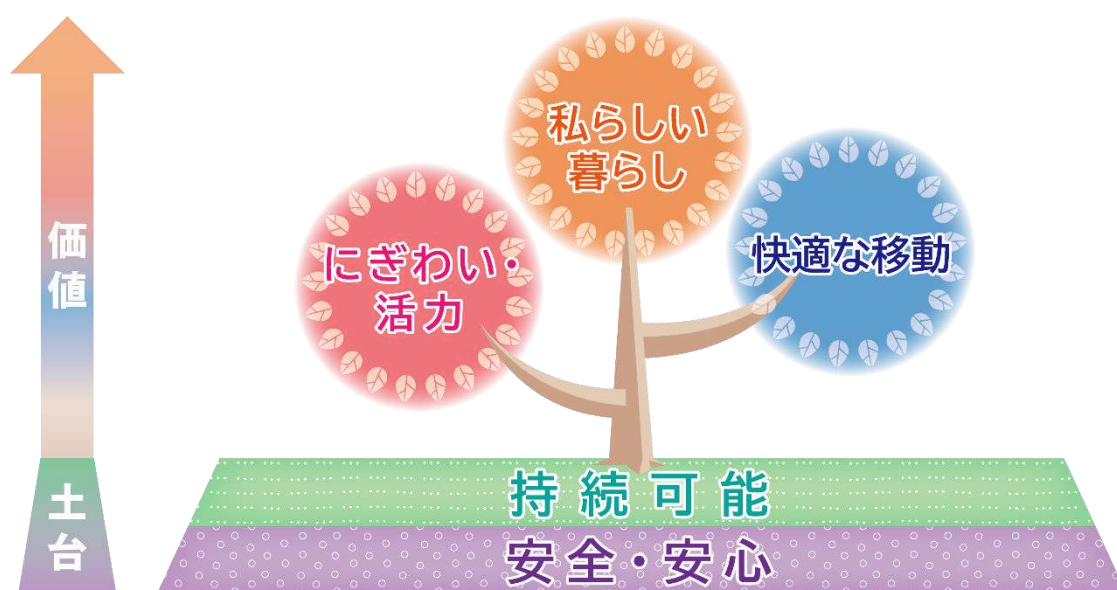
連携と創意工夫に
よって、持続可能
なまちをつくる

（３）将来像の実現に向けたまちづくりのテーマ

前述で整理した上位計画における位置づけや、将来のまちづくりに対する市民意向、本市を取り巻く社会動向等の整理から、今後のまちづくりを検討する上でのキーワードを抽出し、そのキーワードを「来訪者／通勤・通学、住んでいる人、全体」のターゲットに応じて配置すると、大きく５つのグループに括することができます。この５つのまとまりを将来像の実現に向けて取り組むべきまちづくりのテーマとして設定します。

上記の５つのテーマは、これからのまちづくりを考える上で対応しなければいけないものと、朝霞の価値を高めるものに分けられます。そのため、以下の５つのテーマの関係性では、対応しなければいけない２つのテーマ「持続可能」と「安全・安心」を土台として、朝霞市の価値を高める３つのテーマ「私らしい暮らし」、「にぎわい・活力」、「快適な移動」を育てていくことを表現しています。

■ ５つのテーマの関係性

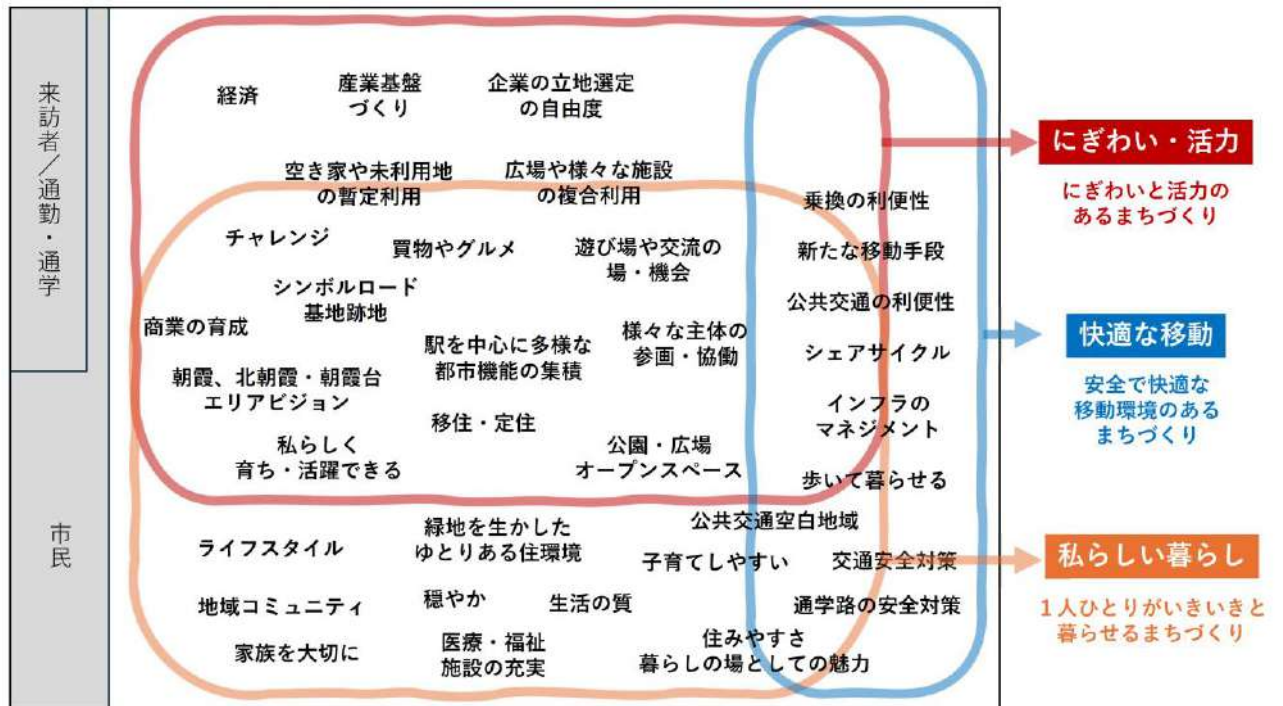


■ まちづくりのテーマの方針

５つのまちづくりのテーマに含まれるキーワードから、各テーマのまちづくりの方針を以下のとおり設定します。

テーマ	まちづくりの方針
私らしい暮らし	・自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを活かし、一人ひとりがいきいきと暮らせるまちを目指します。
にぎわい・活力	・四季折々のイベントが充実し笑顔が絶えないワクワクするまち、鉄道駅や道路ネットワークを生かした活力のあるまちを目指します。
快適な移動	・多様な交通手段でつながる、安全で快適な移動環境のあるウォークアブルなまちを目指します。
持続可能	・みずとみどりのある朝霞らしい風景を守り、親しみ、未来のこどもたちに胸を張って残せる持続可能なまちを目指します。
安全・安心	・災害が発生しても、被害を最小限に留めるとともに素早く確実に復旧でき、日常生活のなかで防犯とともに備えができていくまちを目指します。

<朝霞の価値を高めるキーワード>



<都市基盤の土台となるキーワード>



1) テーマ「私らしい暮らし」

■方針

自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを活かし、
一人ひとりがいきいきと暮らせるまちを目指します。

■方針の実現に向けた取組（案）

（1）市街地と自然をつなぐ、選択肢のある住環境を整える

① 歩いて暮らせる駅近な地域づくり

【例】どの世代でも暮らしやすいバリアフリーに対応した交通結節点の整備 / マイカーに依存しないシェアサイクル等の交通手段の確保 / 騒音に悩まない駅前周辺のルール作り 等

② 駅とみどりをつなぐ、公共交通で移動しやすい地域づくり

【例】交通利便性の高いバス路線の維持 / シェアサイクル等の選択できる移動手段の確保 等

③ 利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり

【例】住宅密集地における生活道路の拡幅 / 地区計画や景観協定、建築協定を活用した自然と調和したまちなみの維持 / 公園等のオープンスペースの確保 / グリーンインフラを取り入れたベンチの設置 等

④ みずとみどりに恵まれた穏やかな地域づくり

【例】公共交通空白地区の解消に向けた新たな公共交通の導入 / 内間木公園の拡張整備 / 市街化調整区域での無秩序な開発抑制等

（2）暮らしを支える生活サービスの質を高める

⑤ 市民サービスを支える広域型都市機能の充実

【例】駅周辺のエリア（朝霞市立地適正化計画における都市機能誘導区域）への商業施設などの誘導施設の誘導 / 利便性の高い公共施設の集約化 / 都市機能補完ゾーン（朝霞市立地適正化計画における本市の都市機能を維持していくために重要な市街化調整区域。基地跡地、黒目川周辺、国道 254 号バイパス沿道）における取組の推進 / 福祉等複合施設の整備 等

⑥ 地域生活サービスを支える地域型都市機能の充実

【例】地域ごとの都市機能の適正配置 等

⑦ 既存の土地や建物を活用した柔軟な機能確保

【例】既存ストックのリノベーション / 空き家・空き店舗の利活用 / 公共施設の集約化・複合化、転用 等

（3）自分らしくいられる場や活躍できる場をつくる

⑧ オープンスペースの創出と利活用

【例】交流スペース等の整備 / リノベーションによる新たな公共空間の創出 / 北朝霞駅西口ロータリー広場化整備 / 道路空間を活用したイベントの実施（ASAKA STREET TERRACE など） / 公園や広場の利活用（規制緩和） / 公共空間を活用する人材の支援 等

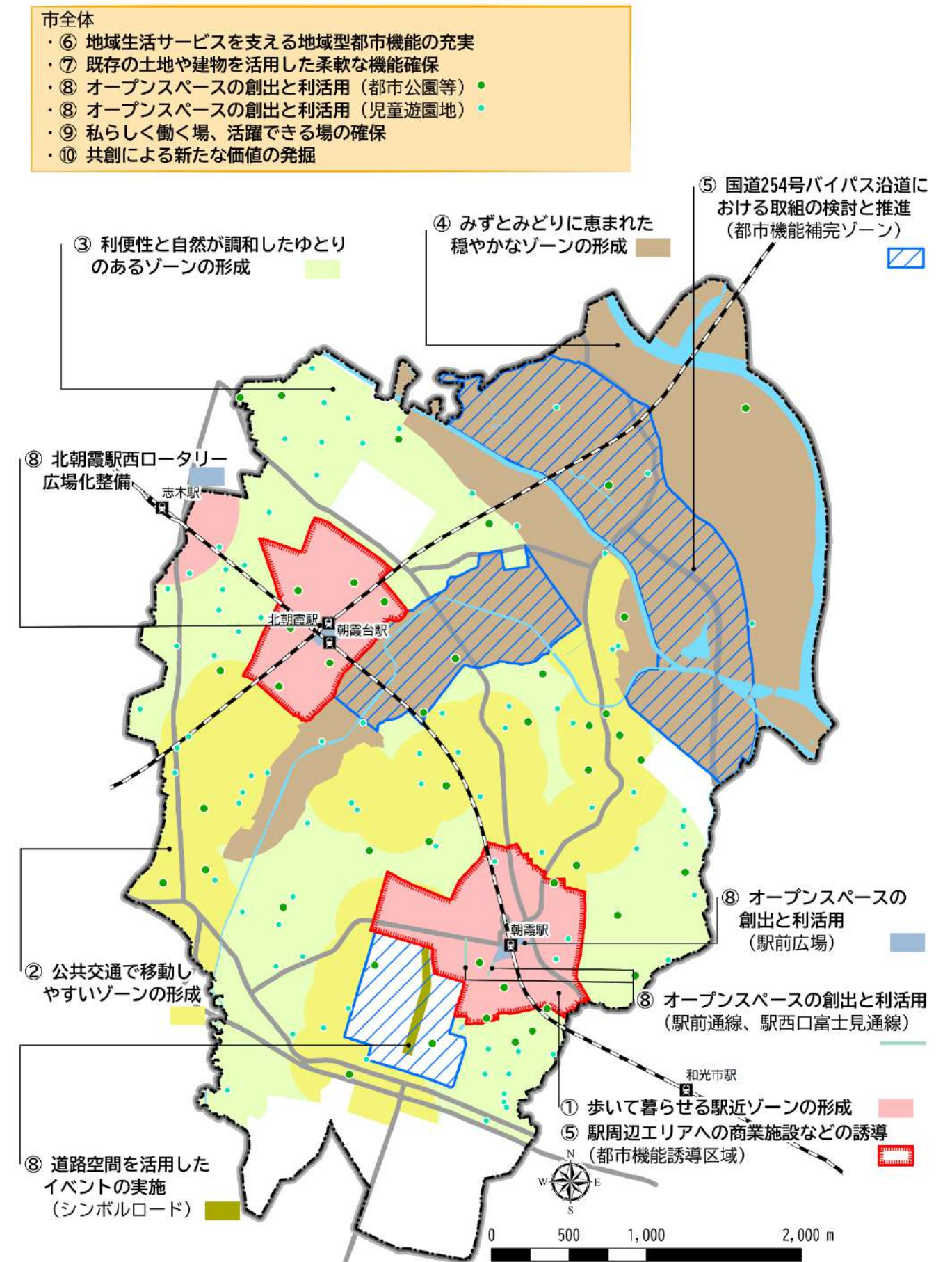
⑨ 私らしく働く場、活躍できる場の確保

【例】コワーキングスペース等の確保 / ローカルビジネス、スタートアップ企業を育てる場の創出 / シンボルロードの歩行者利便増進道路指定（道路を通行以外の目的で柔軟に使用できるようにする制度） 等

⑩ 共創による新たな価値の発掘

【例】官民連携による共創の場（地域課題と人材・技術をマッチングする場）づくり 等

■方針図（案）



2) テーマ「にぎわい・活力」

■方針

四季折々のイベントが充実し笑顔が絶えないワクワクするまち、
鉄道駅や道路ネットワークを生かした活力のあるまちを目指します。

■方針の実現に向けた取組（案）

（1）にぎわいと活力のある駅前拠点をつくる

① 朝霞駅周辺の活気あるまちづくり

【例】公共空間を活用したイベントの実施（ASAKA STREET TERRACE など）／ 定期的な小規模イベントの開催／ イベント企画者の発掘・育成 等

② 北朝霞駅・朝霞台駅周辺の活気あるまちづくり

【例】公共空間を活用したイベントの実施／ 定期的な小規模イベントの開催／ 各駅前広場の機能分担の検討／ 北朝霞駅西口ロータリーの広場化／ 地区計画による商業エリアの創出／ 黒目川周辺イベントとの連携 等

③ 誰もが楽しく歩ける空間の整備

【例】地区計画による歩行空間の確保／ 駅周辺の（まちなか）ベンチの整備／ 駅周辺の主要道の交通規制／ バリアフリー化と交通結節機能強化 等

（2）安心して産業活動ができる環境を整える

④ 工業系地域における、居住環境にも配慮した生産環境の確保

【例】地区計画による建物用途の制限／ 工場と居住などを隔てる緩衝緑地等の整備／ 用途地域の見直し 等

⑤ 企業と住民で共につくる地域経済の活性化

【例】企業と地元住民の交流支援 等

（3）立地特性を活かして戦略的に産業を誘致・育成を図る

⑥ 広域幹線道路沿道の特性を生かした産業用地の創出

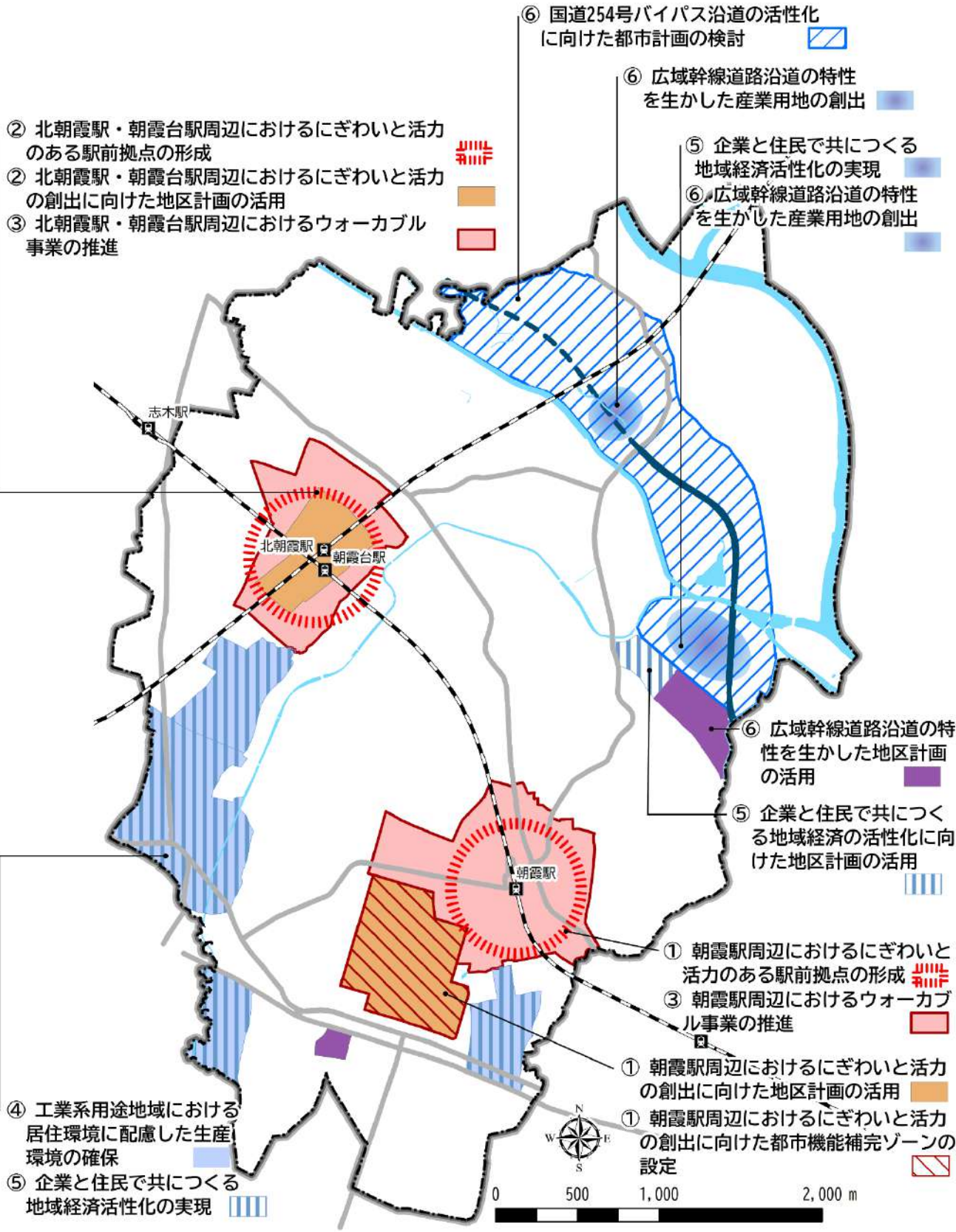
【例】国道 254 号バイパス沿道の活性化に向けた都市計画の検討／ 地区計画による適正な土地利用の誘導／ 沿道周辺の地区計画や土地区画整理事業の活用 等

⑦ 新たな産業機能の導入

【例】大規模工場跡地の適正な利活用／ 魅力ある産業の誘致 等

■方針図（案）

市全体
・⑦ 新たな産業機能の導入



(3) テーマ「快適な移動」

■方針

多様な交通手段でつながる、
安全で快適な移動環境のあるウォークブルなまちを目指します。

■方針の実現に向けた取組（案）

(1) まちの骨格となる幹線道路の交通流を円滑にする

① 幹線道路の整備

【例】都市計画道路や主要幹線道路の整備 / 長期未整備都市計画道路の計画の見直し 等

② 既存道路の改良

【例】既存道路や橋梁の適切な維持管理 / 交通実態に合わせた道路や交差点の改良 等

③ 自転車で走りやすい道づくり

【例】自転車専用通行帯等の自転車通行空間の整備 等

(2) 身近な生活道路の安全を守る

④ 安全に生活できる身近な道づくり

【例】道路の拡幅や自転車専用レーンの導入による歩行空間の確保 / 道路整備基本計画に基づく計画的な生活道路整備 / ゾーン30プラスなどによる面的な交通安全対策 / 自転車の乗り方のルールの普及・啓発 等

⑤ こどもの未来を守る通学路づくり

【例】通学路における安全対策の充実 / 歩道橋の維持管理 等

⑥ 荷捌きと駐車場の適正化

【例】物流を支える荷さばきスペースや駐車場の確保 / 駅周辺の駐輪場や駐車場の適正配置への誘導 等

(3) 自由な移動を支える

⑦ どこに住んでいても自由に移動できる多彩な交通手段の充実

【例】地域公共交通計画の運用による地域公共交通の充実 / 交通事業者との連携による路線バスの確保・維持 / 公共交通空白地区の解消に向けた新たな公共交通の導入 / シェアサイクル等の目的地までの最後の区間を補う交通手段の確保 / 隣接する自治体との広域的な交通手段導入の検討 / 駅前広場の機能検討 等

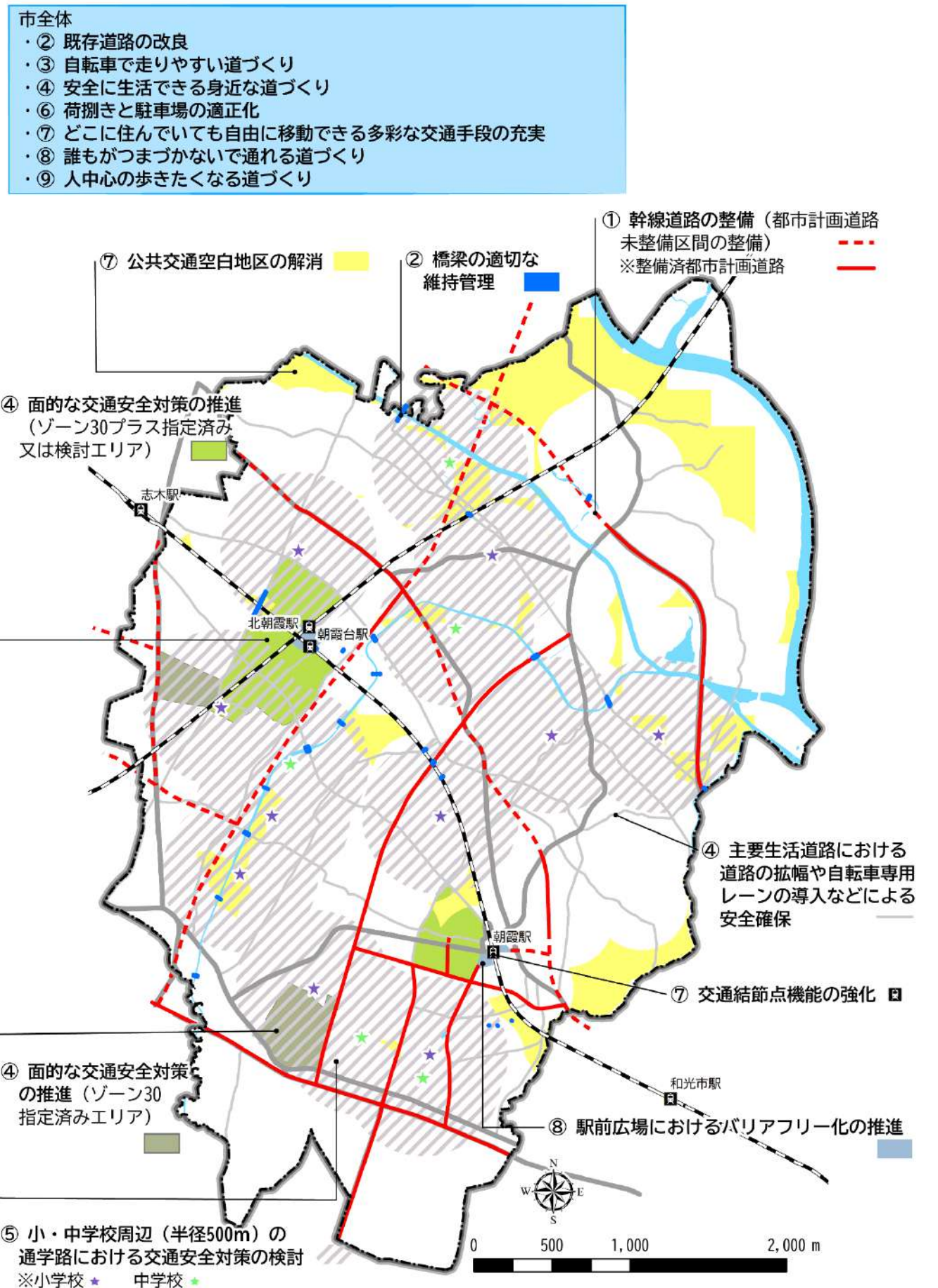
⑧ 誰もがつまづかないで通れる道づくり

【例】駅周辺や道路の段差解消（バリアフリー化） / 河川沿いの遊歩道の整備 / ユニバーサルデザイン化 等

⑨ 人中心の歩きたくなる道づくり

【例】まちなかベンチの設置 / ポケットパークの整備 / 木陰がある道の整備、木陰のある休憩施設の整備 等

■方針図（案）



4) テーマ「持続可能」

■方針

みずとみどりのある朝霞らしい風景を守り、親しみ、
未来のこどもたちに胸を張って残せる持続可能なまちを目指します。

■方針の実現に向けた取組（案）

（１）持続可能な未来につながる気候変動に対応する

- ① 環境配慮の視点からも選択できる移動手段の確保
【例】 地域公共交通の利用促進 / シェアサイクル等の環境に優しいモビリティの選択肢の確保 等
- ② 環境にやさしい公共空間の整備
【例】 公共施設の屋上・壁面緑化、レインガーデン整備 / グリーンインフラの考え方を取り入れた公共空間の整備 等
- ③ 環境にやさしい住宅の整備促進
【例】 創エネ・省エネ設備の整備促進 / 長期優良住宅の認定 等

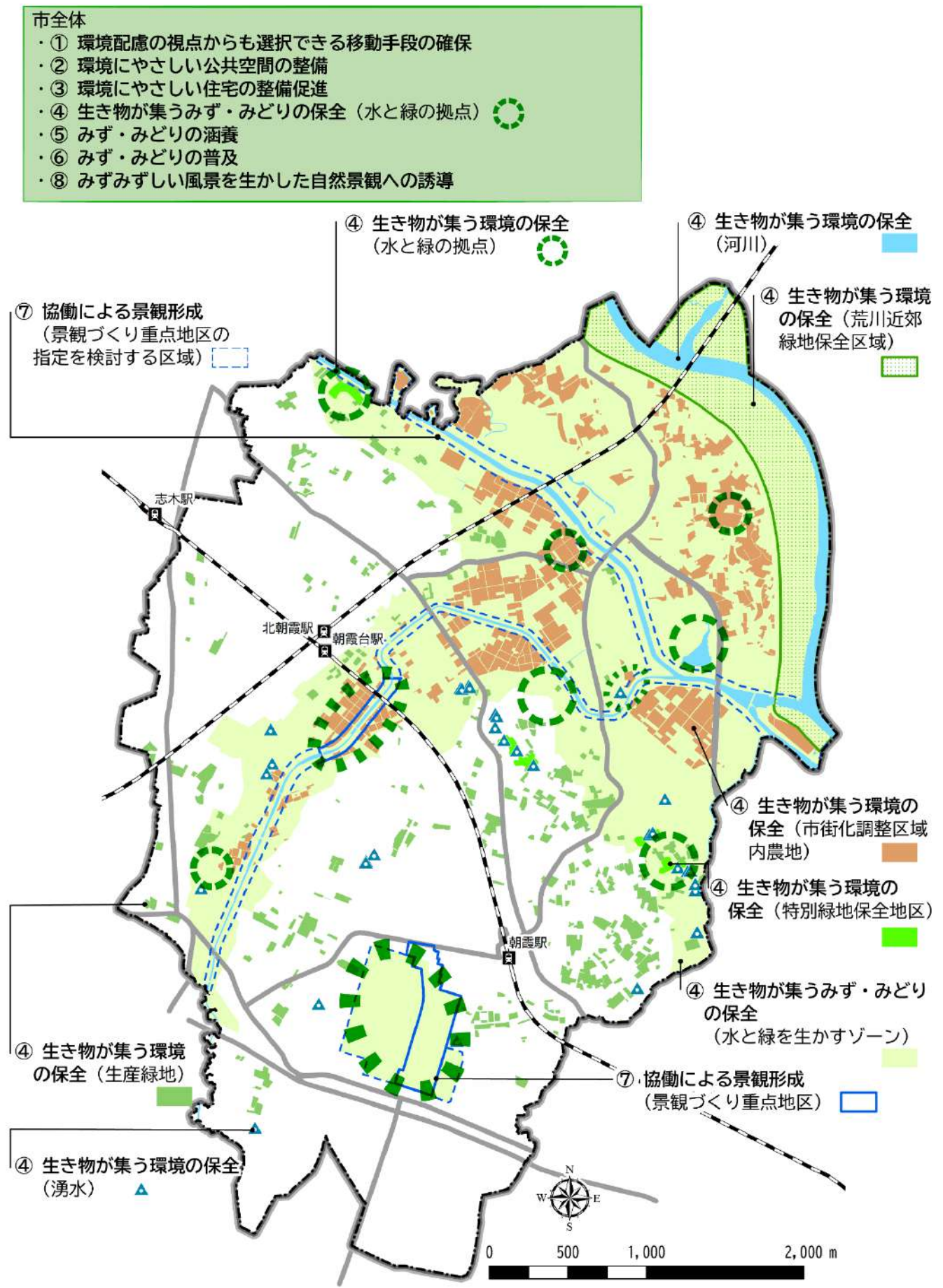
（２）豊かな自然を育みつなぐ

- ④ 生き物が集うみず・みどりの保全
【例】 河川のしゅんせつ（川底の土砂等の掘り上げにより、大雨時の河川氾濫の抑止だけでなく、川の水質改善等の効果が期待される） / 公園の水・緑の維持管理 / 緑地や斜面林の保全 / 湧水・河川の維持管理 / 特定生産緑地の指定などによる生産緑地・農地の維持 / 河川敷の整備、植栽の維持管理 等
- ⑤ みず・みどりを育てる
【例】 駅前広場・道路・公共施設等における花壇（プランター）づくり / 市内に残る貴重な水と緑のネットワークの形成 / グリーンインフラによる機能性と環境への配慮を両立した施設整備 / 公園等アダプト制度の普及・利用 等
- ⑥ みず・みどりの普及
【例】 緑・河川を生かしたイベントの実施 / 生垣設置の奨励 / 開発事業等における緑化指導 等

（３）朝霞らしい風景を守り育てる

- ⑦ 協働による景観づくり
【例】 景観についての啓発 / 景観樹木の募集・指定 / 景観重要公共施設の指定・管理 / 景観重要樹木の募集・指定 / 景観づくり団体の募集・補助 等
- ⑧ みずみずしい風景を生かした自然景観への誘導
【例】 景観計画による地域特性に応じたゾーンの指定 / 景観重点地区の指定、届出制度の運用 / 景観計画に基づく景観の届出 / 景観ガイドラインの作成 等

■方針図（案）



5) テーマ「安全・安心」

■方針

災害が発生しても、被害を最小限に留めるとともに素早く確実に復旧でき、
日常生活のなかで防犯とともに備えができているまちを目指します。

■方針の実現に向けた取組（案）

（1）災害に備える

① 災害のおそれがある地区からの脱却

【例】災害の危険性の高いエリア（土砂災害警戒区域等）からの居住の誘導 / 雨水貯留施設の整備による水害リスクの低減 等

② インフラの強化

【例】上下水道施設の更新・耐震化 / 道路や橋梁の更新・長寿命化 等

③ 災害に強い住環境への改善

【例】浸透性の高い舗装整備の促進 / 空き地・空き家を活用したオープンスペースの創出 / 防火地域の指定 / 建築物耐震改修促進計画の運用によるさらなる住宅の耐震化の促進 / 建築物の耐火の促進 等

（2）災害が発生しても円滑に復旧できる準備を整える

④ 発災時の核となる防災拠点の形成

【例】震災や水害に対応した避難場所の機能確保 等

⑤ 避難・救助しやすい道づくり

【例】幅員や平坦性を確保した避難経路の確保 / 消防車、救急車が通ることができる道路の整備 等

⑥ 物資や人を運びやすい道づくり

【例】緊急輸送道路の整備 / 緊急輸送道路の無電柱化の促進 等

（3）日頃の生活から「もしも」を見据えた環境をつくる

⑦ 日常から災害に備えるまちづくり

【例】ハザードマップ等の情報の周知 / 植栽と貯水性を兼ね備えた機能の整備 / 災害時を考慮したベンチ等の導入 等

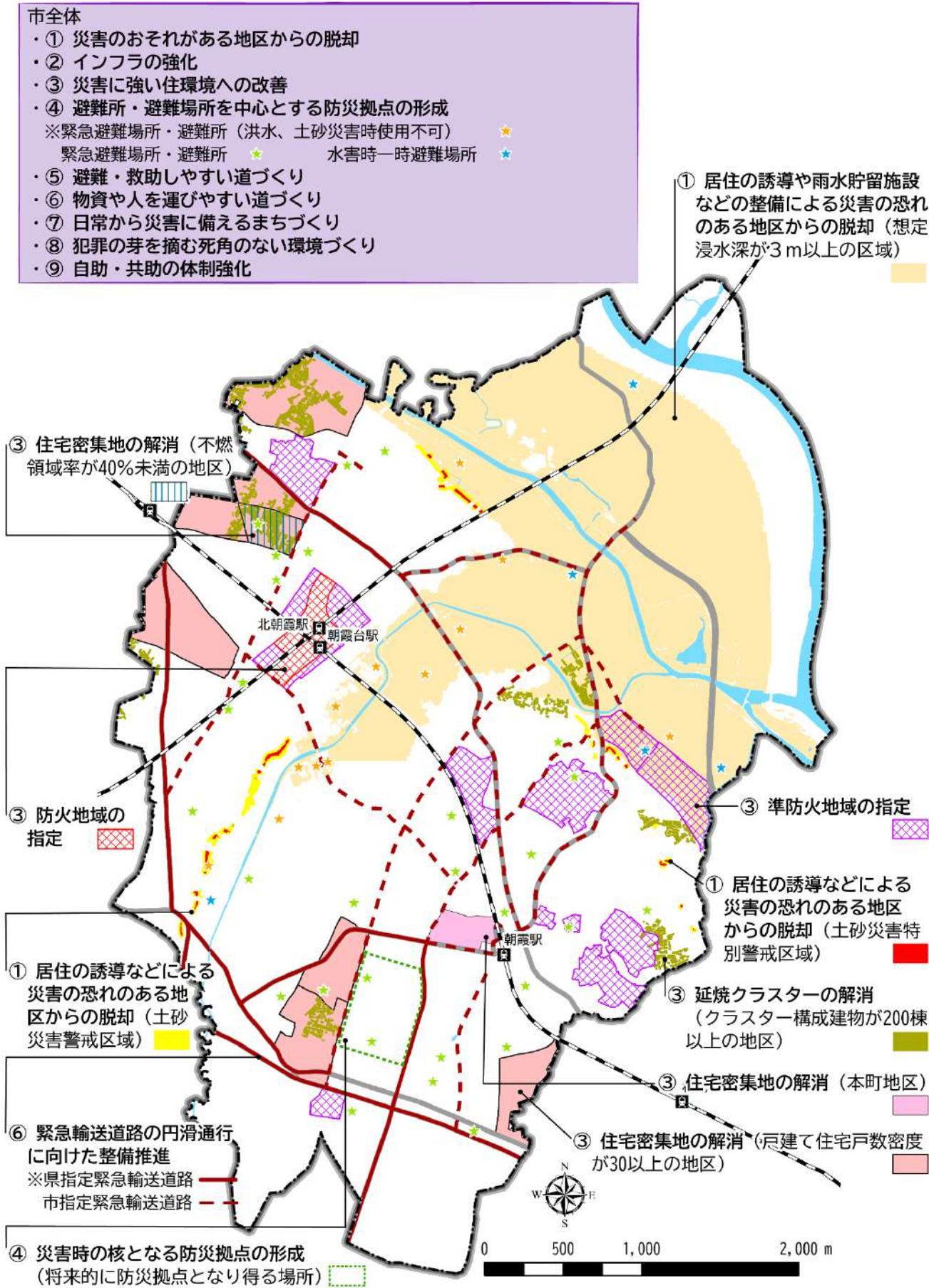
⑧ 犯罪の芽を摘む死角のない環境づくり

【例】道路や公共空間における十分な照度の確保 / 住宅地や公共施設における見通しの向上 / 空き家の解消 / 防犯カメラの設置 等

⑨ 自助・共助の体制強化

【例】防犯・交通安全の取組など日頃の地域活動を通じた顔の見える関係づくり / 地域との防災まちづくりの推進 / 災害時に支援が必要な方を含む地域コミュニティでの連携促進 等

■方針図（案）



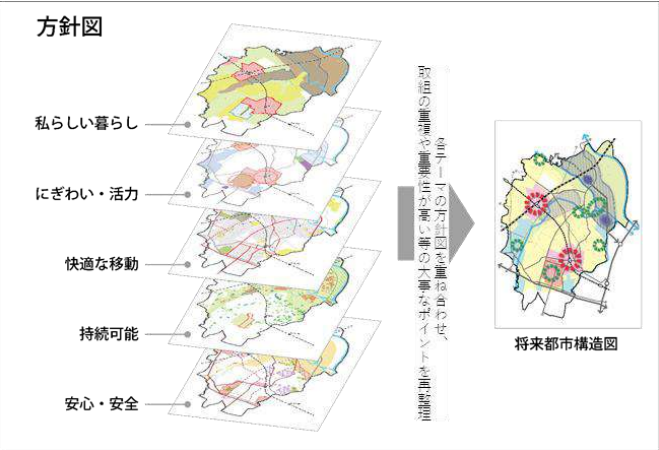
(4) 将来都市構造

将来都市構造は、目指すまちづくりの将来像を実現するため、本市の特徴・課題を踏まえた将来あるべき「都市の骨格イメージ」を明らかにするものです。

将来都市構造の構成要素として、行政サービスや医療・福祉、商業、文化など都市機能の集積や自然環境の保全の核となる「拠点」、市内及び隣接都市との交通及び自然環境の骨格を形成する「都市軸」、居住環境や土地利用の状況に応じた土地利用方針を表す「ゾーン」を設定し、それぞれの方針を示します。

上記の将来都市構造の構成要素は、各テーマの方針図を踏まえ、その重ね合わせから取組の重複や重要性の高い等の大事なポイントを抽出し再整理したものです。

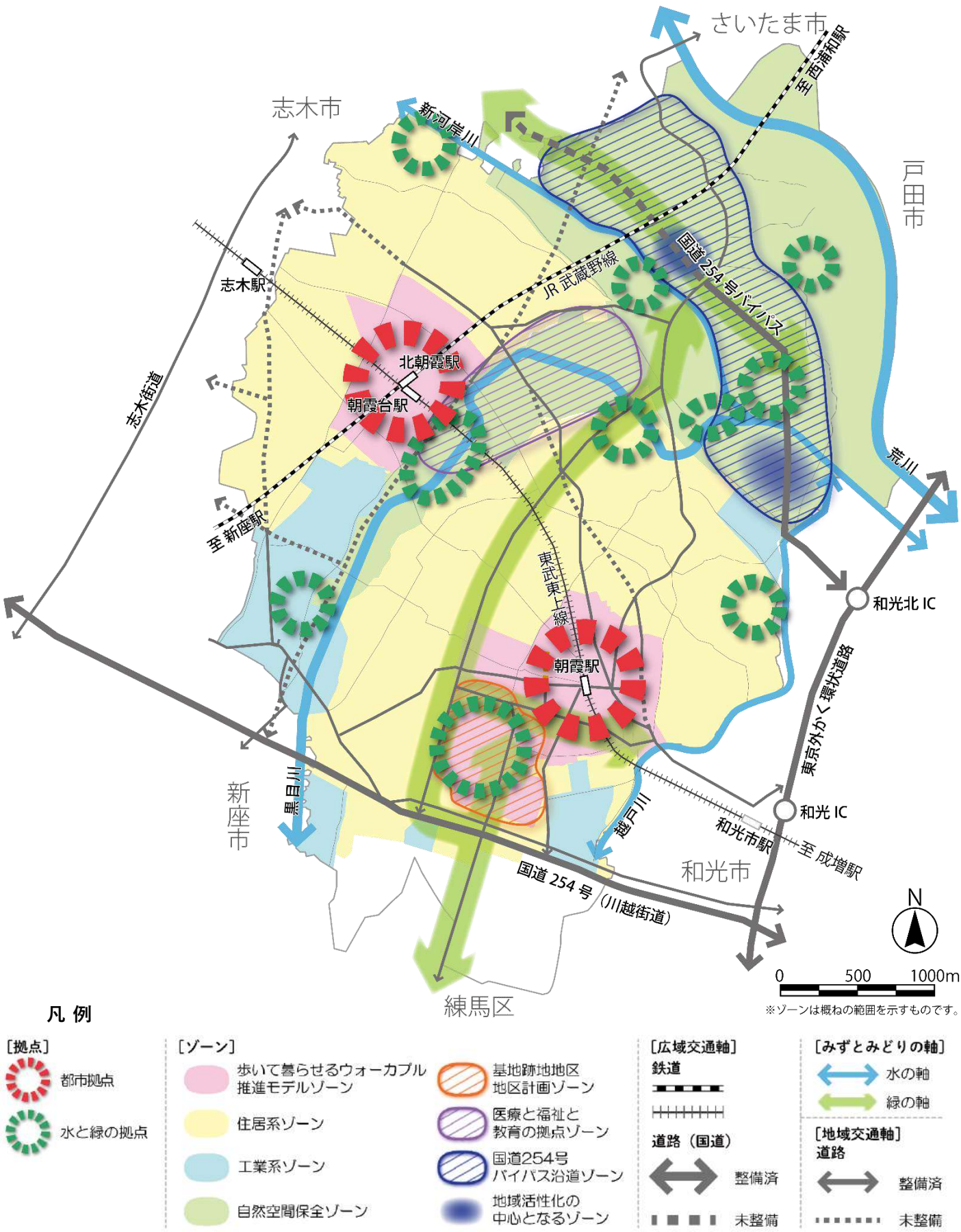
■将来都市構造図と各テーマの方針図の関係



■将来都市構造図に示す要素と方針図との関係性

将来都市構造の要素		テーマの方針図				
		私らしい暮らし	にぎわい・活力	快適な移動	持続可能	安全・安心
拠点	都市拠点	○	○	○	—	—
	みずとみどりの拠点	—	—	—	○	—
都市軸	広域交通軸	—	○	○	—	○
	地域交通軸	—	—	○	—	○
	みずとみどりの軸	—	—	—	○	—
ゾーン	歩いて暮らせるウォーカブル推進モデルゾーン	○	○	—	—	—
	住居系ゾーン	○	—	—	—	—
	工業系ゾーン	—	○	—	—	—
	自然空間保全ゾーン	○	—	—	○	○
	基地跡地地区地区計画ゾーン	○	○	—	○	○
	医療と福祉と教育の拠点ゾーン	○	—	—	○	—
	国道 254 号バイパス沿道ゾーン	○	○	—	—	—

<将来都市構造図>



＜将来都市構造を構成する要素の方針＞

○拠点

都市拠点 	朝霞駅周辺	・朝霞駅周辺の道路など都市基盤整備の推進に加え、商店街の活性化に向け、魅力ある店舗の誘導などによる商業業務機能の充実やおもてなしが感じられる取組などによる空洞化対策を図るとともに、駅周辺の利便性を生かした医療・福祉・子育てなどの各種生活サービス機能や行政サービスなどの都市機能の集積を図り、魅力と活力のある中心市街地としてのにぎわいづくりを推進します。 ・駅や商店街、周辺施設が連携し、安全で楽しく歩きやすく、思い思いの過ごし方ができる空間となるよう、ウォーカブルな空間の整備と活用を進めます。
	北朝霞・朝霞台駅周辺	・北朝霞地区地区計画による商業業務施設の誘導を今後も維持するとともに、壁面後退区域の有効活用を行い多くの人を訪れたいと感じるにぎわいの景観や魅力ある商業空間の形成を図ります。 ・駅や商店街、周辺施設が連携し、安全で楽しく歩きやすく、思い思いの過ごし方ができる空間となるよう、ウォーカブルな空間の整備と活用を進めます。 ・比較的駅に近い大学や自然との連携の強化を図ります。
みずとみどりの拠点 	基地跡地周辺	・市街地開発などが進む中であっても。朝霞市らしさの源泉であるみずやみどりを守るため、まとまった緑地を「みずとみどりの拠点」と位置づけ、保全していきます。
	朝霞調整池・わくわく田島緑地周辺	
	城山公園	
	郷戸特別緑地保全地区周辺	
	宮戸特別緑地保全地区周辺	
	島の上公園	

○都市軸

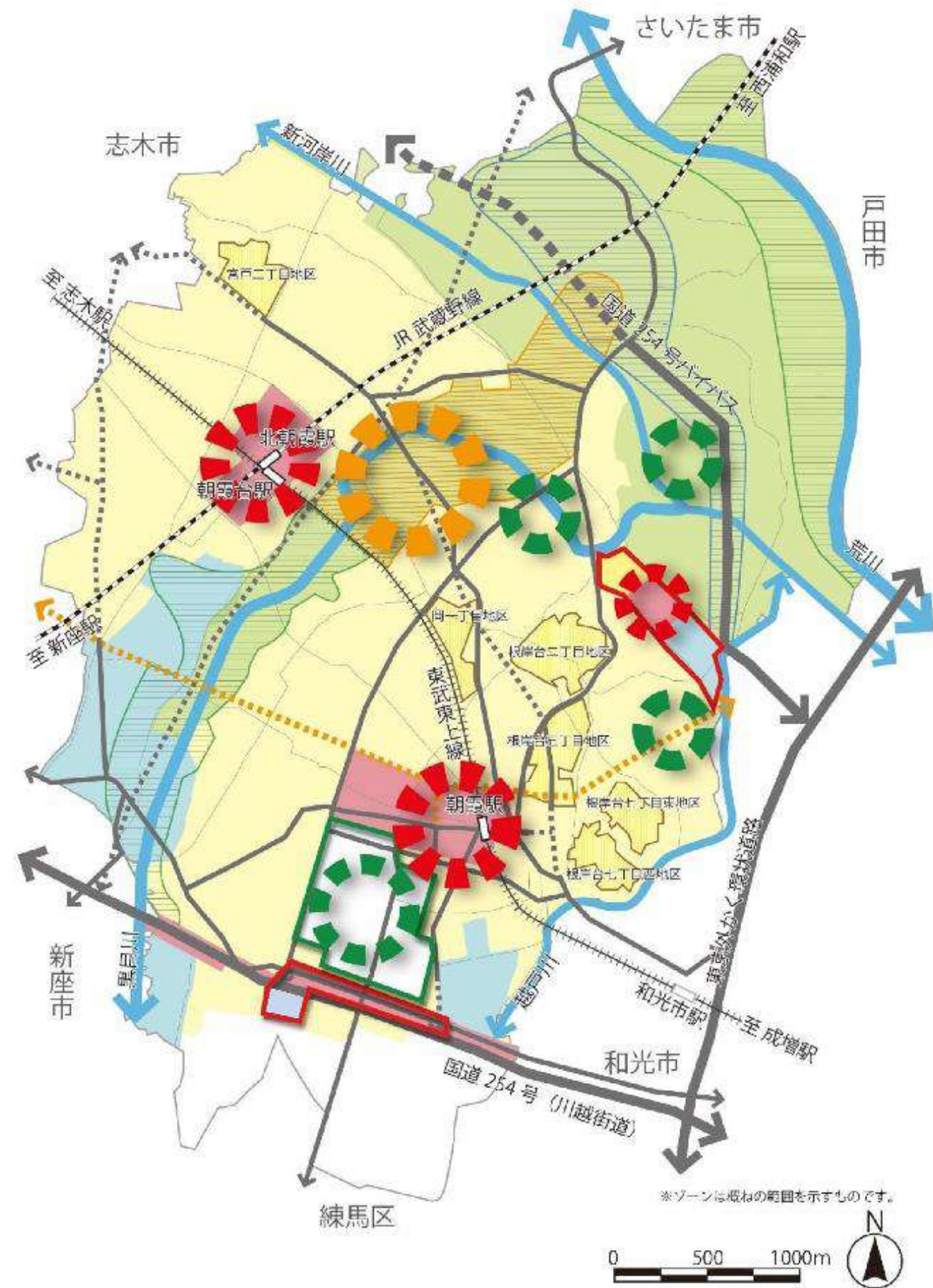
広域交通軸 鉄道   道路（国道）  整備済 未整備	鉄道	・近隣都市との広域交通ネットワークを形成し、地域間交流を促進します。 ・国道 254 号バイパスの早期整備に向けて国等との連携を図ります。
	道路（国道）	
地域交通軸 道路  整備済 未整備	道路	・広域交通軸を補完し、市内の各拠点等を結ぶ地域交通ネットワークは、未整備区間の整備によるネットワークの充実を図るとともに、既存道路の改良を行い、交通流の円滑化を図ります。 ・長期未整備の都市計画道路については、必要性を再検証し計画の見直しを行います。
	道路	

みずとみどりの軸  	・荒川	・河川とその周辺の斜面地や農地と一体となり、自然環境を保全しながら、身近に自然とふれあえる場としての活用を図ります。
	・新河岸川	
	・目黒川	
	・越戸川	

○ゾーン

市街化区域	歩いて暮らせるウォーカブル推進モデルゾーン 	・駅の至近であり、様々な都市機能が集積し、日常生活や交通の利便性が高く、徒歩圏内で生活可能な範囲	・駅周辺に都市機能の集積を図るとともに、駅近の通勤や買物等の利便性に魅力を感じる多様な世代の居住の誘導を図ります。 ・シェアサイクル等の多様な移動手段を確保することにより、マイカーに依存しない居住環境を形成します。
	住居系ゾーン 	・住居系用途地域の範囲	・現在の市街地密度の維持を図り、バス路線やシェアサイクル等による交通利便性を確保しつつ、自然とのバランスのとれた総合的に暮らしやすい住環境を創出します。
	工業系ゾーン 	・工業系用途地域の範囲	・地元産業が活性化し、また、持続できる環境を確保することにより、持続的な活力の創出を図ります。
市街化調整区域	自然空間保全ゾーン 	・黒目川、新河岸川周辺に拡がる市街化調整区域	・公共交通空白地区の解消など生活環境の改善を図りつつ、水辺空間や緑の保全を図るとともに、周辺環境に調和するレクリエーション活動の場として活用を図ります。
	基地跡地地区地区計画ゾーン 	・基地跡地地区計画のエリア	・基地跡地利用計画、基地跡地地区地区計画に基づく施設整備や土地利用等の整備を図ります。 ・未来ビジョンに基づき、官民連携による公共空間の活用を軸としたにぎわいの創出に取り組みます。
	医療と福祉と教育の拠点ゾーン 	・医療と福祉と教育の拠点エリア	・現存する公共公益施設の機能を維持するとともに、景観資源である黒目川の魅力向上を図ります。 ・北朝霞駅・朝霞台駅からのアクセス向上を図るため、公共交通やシェアサイクル等の利便性の向上、歩行空間の安全性・快適性の向上を図ります。
	国道 254 号バイパス沿道ゾーン 	・国道 254 号バイパス沿道エリア	・国道 254 号バイパスの整備にあわせた産業や商業施設の誘致など、沿道土地利用の促進を図ります。 ・都市計画等の制度を活用し、防災・減災、農地・自然環境保全、地域活性化との調和のとれた適切な土地利用を推進します。
	地域活性化の中心となるゾーン 		

(参考) 現行計画における将来都市構造図



構成	種 類	凡例	位 置	内 容
拠点	都市拠点・地域拠点		(都市拠点) ・東武東上線朝霞駅周辺 ・JR 武蔵野線北朝霞駅・東武東上線朝霞台駅周辺 (地域拠点) ・根岸台3丁目の大規模工場跡地周辺	(都市拠点) ・本市の中心的な拠点及び玄関口として商業・業務・行政サービス等の都市機能の集積を図ります (地域拠点) ・根岸台3丁目の大規模工場跡地周辺は、都市拠点とのアクセスが容易ではない市北東部（主に東部・内間木地域）の地域生活拠点として商業機能の誘導を図ります
	医療と福祉の拠点		・健康増進センター、総合福祉センター、東洋大学などの公共公益施設が立地する地区	黒目川を軸に、市民の健康づくりに資する拠点的な医療・福祉・教育施設の集約的立地を図ります
	水と緑の拠点		・基地跡地周辺 ・朝霞緑地帯 ・城山公園 ・郷戸特別緑地保全地区周辺	豊かな自然・環境の拠点となるまとまった緑地を保全します
地区	新たな拠点形成地区		・基地跡地	新たな市のシンボルとして、周辺エリアと連携しながら、緑地の保全とともに、多様な周辺施設と連携した土地利用により、地域の交流と活性化を図ります
	まちづくり重点地区		・朝霞第四小学校跡地及び周辺の国道254号沿道地区 ・根岸台3丁目の大規模工場跡地周辺及び大字台地内の東地区の一部	大規模跡地及び周辺地区において、交通の利便性などの立地を生かして、民間活用等による地域の経済と雇用を支えるまちづくりに重点的に取り組みます
	新市街化地区		・旧暫定遊線引き地区 ・根岸台五丁目土地画整理事業区域	新たに市街化区域に編入した地区などで、都市農地が多く残る地域特性を生かした良好な市街地形成を促進します
都市軸	広域交通軸	鉄 道	・JR武蔵野線 ・東武東上線	近隣都市との広域交通ネットワークを形成し、地域間交流を促進します
		道 路(国道)		
		整備済区間	・国道254号、国道254号バイパス(整備済区間)	
	地域交通軸	道 路(県道・主要生活道路・都市計画道路)		広域交通軸を補完し、市内の各拠点等を結ぶ地域交通ネットワークを形成します
		整備済区間	・整備済区間	
		未整備区間	・未整備区間	
ゾーン	市街化区域	商業系ゾーン	・商業系用途地域の範囲	経済活動の場や住宅地として適正な土地利用を図ります
		工業系ゾーン	・工業系用途地域の範囲	
		住居系ゾーン	・住居系用途地域の範囲	
	市街化調整区域など	自然空間保全ゾーン	・黒目川、新河岸川周辺に広がる市街化調整区域	水と緑の軸と一体的に自然環境及び景観の保全・創出を図ります
		緑地景観保全ゾーン	・黒目川緑地帯 ・荒川近郊緑地保全区域	
		自然と調和のとれたまちづくりゾーン	・黒目川周辺の市街化調整区域で、拠点的な公共公益施設が立地する範囲 ・内間木地域の一部及び国道254号バイパス沿道	

（参考）各テーマの目標に対するストーリー（目指す姿）

1）テーマ「私らしい暮らし」

■目標

**自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを活かし、
一人ひとりがいきいきと暮らせるまちを目指します。**

< 私らしい暮らしとは…（ストーリー） >

都心近郊の都市でありながら、武蔵野台地や河川などの豊かな自然が残る、多様な住環境は朝霞市の魅力の一つです。

市内には、利便性の高い市街地や自然環境を生かした住環境など、それぞれ特色のある地域が共存しており、選択できる住環境の多様性を伸ばしていきます。

多様な文化に触れたり、利便性・快適性を高めたりして暮らしの質（QoL=Quality of Life）を高めるため、朝霞市民全体のためのサービスと地域それぞれの日常生活を支えるサービスの両面から、それらを提供する都市機能の充実を図っていきます。また、都市機能を整備、更新していくために既存のストックも活用しながら賢く確保していきます。

私らしい暮らしを実現するためには、住まいやその周辺環境だけでなく、他者と触れ合える場や自分らしくいられる場、自分らしく輝ける機会も必要であることから、多様な方々と交流できる場や居心地よく過ごせる空間、活躍できる機会を創出していきます。

2）テーマ「にぎわい・活力」

■目標

**四季折々のイベントが充実し笑顔が絶えないワクワクするまち、
鉄道駅や道路ネットワークを生かした活力のあるまちを目指します。**

< にぎわい・活力とは…（ストーリー） >

人やモノや情報が集まり、にぎわいと交流の拠点づくりを進めることで、都市の魅力向上や産業の活性化を促進することにより、市民が誇れる朝霞市を目指します。

市の中心拠点である駅周辺や商店街など、にぎわいが生まれやすい場所の活力を高めます。また、安全で楽しく歩きやすい歩行空間となるよう、ウォーカブルな空間の整備と活用を進めます。

地元産業が活性化し、また、持続できる環境を確保することにより、持続的ににぎわいや活力の創出を図ります。

国道 254 号や国道 254 号バイパスの沿道などは流通の面での立地特性を生かし、大規模な工場跡地などは産業用地としての立地特性を生かして、新たな産業の誘致と育成を図ります。

3）テーマ「快適な移動」

■目標

**多様な交通手段でつながる、
安全で快適な移動環境のあるウォーカブルなまちを目指します。**

< 快適な移動とは…（ストーリー） >

快適な移動は、日常の用事や通勤通学などの人の移動と、物流や移送などモノの移動に分類できます。

人とモノの移動どちらにも重要な幹線道路は、未整備区間の整備によるネットワークの充実を図るとともに、既存道路の改良を行い、交通流の円滑化を図ります。

住宅都市である朝霞市では、身近な生活道路の安全性をさらに高め、市街地内の物流や駐車のを需要を適切にコントロールすることにより、朝霞市に暮らす付加価値を高め、こどもや高齢者をはじめとする市民の暮らしを守ります。

朝霞市のコンパクトな都市構造を生かし、多様な移動手段を確保することで、さらに生活の利便性や暮らしの質を高めます。

4）テーマ「持続可能」

■目標

**みずとみどりのある朝霞らしい風景を守り、親しみ、
未来のこどもたちに胸を張って残せる持続可能なまちを目指します。**

< 持続可能とは…（ストーリー） >

世界的な気候変動が進む中、都市としての対応が求められています。また、豊かなみずとみどりは朝霞市らしさの源泉です。

気候変動の要因となる環境負荷を都市づくりの観点からも減らしていきます。また、災害級の暑熱にも都市づくりの観点からの対策を講じます。

市街地開発などが進む中であっても、朝霞市らしさの源泉であるみずやみどりを守ります。また、豊かなみずとみどりは守るだけでなく、つくり育てることも重要です。都市が更新されていくたびに、みずとみどりも増えてつながっていく仕組みをつくります。

都心近郊でありながら、みずとみどりに恵まれた朝霞市の景観を市民や事業者と協力しながら朝霞らしい心安らぐ風景を維持向上できるよう誘導します。

5）テーマ「安全・安心」

■目標

**災害が発生しても、被害を最小限に留めるとともに素早く確実に復旧でき、
日常生活のなかで防犯とともに備えができているまちを目指します。**

< 安全・安心とは…（ストーリー） >

頻発化・甚大化する自然災害から市民の生命と財産を守るには、災害が発生する前の備えと、発生した後の対処のどちらも重要です。それらを非日常のための対応と捉えるのではなく、日頃の日常生活のなかで防犯とともに備えておく意識を持って取り組みます。

各地で地震や風水害が頻発するなか、災害発生前の備えとして、災害のおそれがある地域の解消や、危険な区域から安全な区域への居住誘導を進めます。また、老朽化したインフラを災害にも耐えられるように更新したり、災害時の被害を拡大させかねない環境にある住宅地の改善に取り組みます。

災害が発生したときにも滞りなく避難し円滑に復旧できるように、事前対応として防災拠点の整備・充実、避難場所や避難経路、緊急輸送道路の確保に取り組みます。

日常生活から「もしも」に備えたフェーズフリー*なまちづくりに取り組みます。もしもへの備えは防犯の観点からも有効です。

*フェーズフリー：日常と非常時を区別せず、身の回りにあるものを日常でも非常時でも役立てる考え方

あさかまちづくりサロン（地域版）

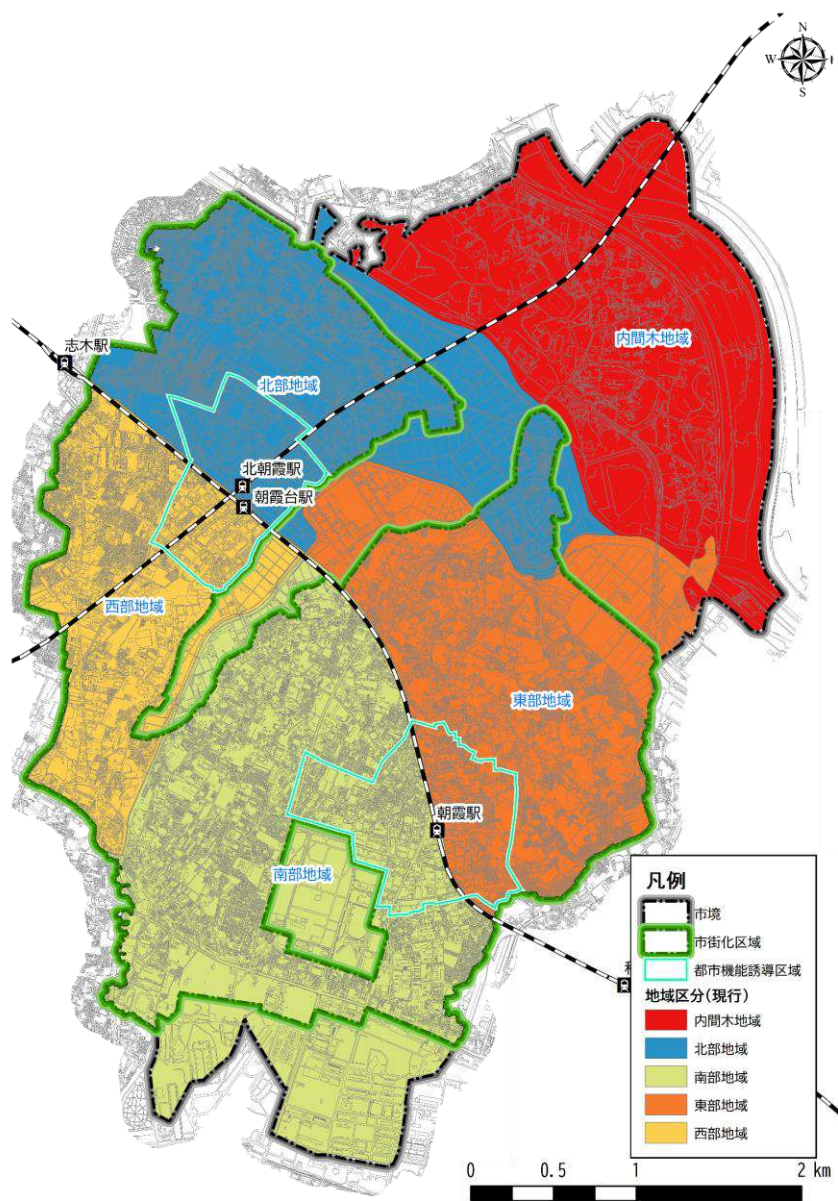
（１）目的

各地域に関係する市民が集い、地域のまちづくりについて話し合う場を設け、地域別構想に地域住民の意向を反映させるとともに、地域が主体となったまちづくり活動の機運を高めることを目的とします。

（２）地域の区分

2024 年 2 月の第 2 回都市計画審議会において、次期都市マスの地域区分は現行計画を踏襲することとしました。

そのため、あさかまちづくりサロン（地域版）についても現行の 5 つの地域区分を踏襲することとします。



(3) 開催日時と会場

各回の開催日時と場所は以下の通りです。

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回※
	4 月 26 日(土) 10:00-12:00	5 月 10 日(土) 10:00-12:00	5 月 24 日(土) 10:00-12:00	6 月 7 日(土) 10:00-12:00
内間木地域	上内間木町内会館	上内間木町内会館	内間木公民館 和室	産業文化センター 研修室第 1・2・3
東部地域	東朝霞公民館 第 1・2 会議室	東朝霞公民館 第 1・2 会議室	東朝霞公民館 第 2 会議室	
西部地域	弁財市民センター 会議室	リゾンコミュニテ ィギャラリー	弁財市民センター 会議室	
南部地域	市役所 大会議室	市役所 大会議室	市役所 大会議室	
北部地域	産業文化センター 研修室第 1・3	宮戸市民センター 第 2 会議室	産業文化センター ギャラリー	

(4) 各回の実施概要

各回のテーマと概要は以下の通りです。

【第 1 回】

テーマ：地域の資源と課題を再確認しよう

概要：地域の良いところ（資源）と、改善すべきところ（課題）を出し合い、地域の現状を共有する。

【第 2 回】

テーマ：地域づくりの目標を設定しよう

概要：地域の資源と課題を踏まえ、地域が目指すまちづくりの目標（将来像）を定める。

【第 3 回】

テーマ：地域別特定テーマについて話し合おう

概要：第 1・2 回の議論や地域の特徴を踏まえて地域ごとに特定テーマ（※）を設定し、特定テーマに対する課題や対応策を話し合う。
（※）例えば、通学路の安全対策や駅周辺の活性化など

【第 4 回】

テーマ：市民からのまちづくり提案

概要：市民が主体となって行うまちづくり活動としてどんなことができるか、実際に自分がやるならどんなことができるか考え、提案する。

參考資料 1

項目（※）	令和5年度					令和6年度									令和7年度																							
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
(1) 都市計画審議会開催	■ 第1回					■ 第2回					■ 第3回					■ 第4回				■ 第5回			■ 第6回			■ 第7回		■ 第8回			■ 第9回			■ 第10回		■ 第11回		
	【第2回議題案】 ・策定目的の確認 ・全体工程 ・地域区分の確認 ・合意形成方法とプロセス見通し					【第3回議題案】 ・現行計画の策定時からの変化の把握 ・次期都市マスの基本的な構成					【第4回議題案】 ・現状把握の再整理 ・取り巻く社会動向の把握 ・将来像、将来都市構造 ・まちづくりのテーマの課題と取組の柱					【第5回議題案】 ・全体構想におけるテーマ別まちづくりの方針				【第6回議題案】 ・各テーマの方針に対する取組の柱と主な取組の確認 ・地域別サロンに向けて 【第7回議題案】 ・全体構想の構成 ・将来都市構造の検討等					【第8回議題案】 ・地域別サロンの共有 ・地域別の課題・強みの共有 ・地域別取組の過不足の確認等			【第9回議題案】 ・前回は踏まえた対応状況の共有 ・地域別検討を踏まえた全体構想への対応 ・計画の推進方策			【第10回議題案】 ・地域別検討を踏まえた全体構想への対応 ・市民コメント用素案（庁内調整後）の確認			【第11回議題案】 ・市民コメントの意見に対する対応 ・デザインを踏まえた冊子の共有				
(2) 庁内検討会議開催	■ 第1回					■ 第2回					■ 第3回				■ 第4回				■ 第5回			■ 第6回		■ 第7回		■ 第8回			■ 第9回		■ 第10回							
(3) 都市の状況把握	■■																																					

朝霞市都市計画マスタープランの策定に向けた あさか まちづくりサロン (地域別)

朝霞市では、令和8年度から始まる
新たな都市計画マスタープランの策定を進めています。市民の皆さんの
多様なご意見を踏まえた計画とするため、あさかの将来のまちづくりについて、和やかな
雰囲気の中でみんなで話し合うワークショップ「あさかまちづくりサロン」を開催しています。
今回は、朝霞市を5つの地域に分けて地域別のワークショップを行います。
お住いの地域の魅力と課題を共有し、朝霞市の将来を一緒に考えてみませんか？
一人でも、ご近所の方とでもぜひお気軽にご参加ください♪

通学路の交通安全の対策が
強化されるといいな！

災害時に危険が高まる
場所はどこだろう？

緑の豊かさが
魅力だと思う！



どの回からでもご参加いただけます！

第1回 4月26日(土) 10:00～12:00

「地域の良いところと改善したいところを話し合おう」
地域で取組むまちづくりのファーストステップとして、
「地域の良いところ」と「改善したいところ」を
話し合います。

第2回 5月10日(土) 10:00～12:00

「地域づくりの目標を設定しよう」
「地域の良いところ」と「改善したいところ」を踏まえ、
地域が目指すまちづくりの目標を考えます。

第3回 5月24日(土) 10:00～12:00

「みんなでテーマを決めて話し合おう」
第1・2回での話し合いや地域の特徴を考えたいうえで、
地域ごとにテーマ(※)を決め、テーマに対する
課題や対応策を話し合います。

第4回 6月7日(土) 10:00～12:00

「私たちからのまちづくり提案」
サロンに参加する市民の皆さんの自由な発想で地域の
まちづくり計画を考え、地域や朝霞市に対して提案し
ていただきます。

(※) 例えば、駅周辺の活性化など

会場・内容

【会場】

地域ごとに会場を分けて行います。
詳しくは裏面をご参照ください。

【対象者】

朝霞に住んでいる人・朝霞で働いている人・朝霞の学校等に通っている方ならどなたでも。

《学生特典》

「感謝状」をお渡しします。

学生さんやお子様連れも
大歓迎！

申込

【お申込・お問い合わせ】

下記の内容を電話、FAX、メール、
またはQRコードから読み取った
応募フォームからお伝えください。

お名前・年齢・住所・
電話番号・参加したい地域

主催：朝霞市

TEL：048-463-2518

FAX：048-463-9490

mail：mati_zukuri@city.asaka.lg.jp

事前 申込

締め切り
各回開催日の
1週間前まで

QRコードからお申し込みの
方はこちらをスマートフォン
で読み取ってください



現行の都市計画マスタープラン、現在作業中の都市マスタープランの検討過程はホームページをご覧ください。

サロンの情報



朝霞市都市計画マスタープランの検討過程



まちづくりサロン実施会場

まちづくりサロン（地域版）の実施会場は以下をご参照ください。
回により会場が異なりますのでご注意ください。

ご自身のお住まいがどこの地域に区分されるのかがご不明の方は、表面のお問い合わせ先にご連絡ください。基本的にはお住いの地域の会場に参加してください。

（ご希望に応じて他の地域会場への参加も可能です。）



地域	対象町丁目	まちづくりサロン実施会場			
		第1回 4月26日(土)	第2回 5月10日(土)	第3回 5月24日(土)	第4回 6月7日(土)
内間木地域	大字上内間木、大字下内間木、大字浜崎の一部、大字宮戸の一部、大字田島の一部	上内間木町内会館 ①	上内間木町内会館 ①	内間木公民館 和室 ②	
北部地域	北原1・2丁目、西原1・2丁目、朝志ヶ丘1～4丁目、宮戸1～4丁目、浜崎1～4丁目、田島1・2丁目、大字宮戸の一部、大字浜崎の一部、大字田島の一部	産業文化センター 研修室第1・3 ③	宮戸市民センター 第2会議室 ④	産業文化センター ギャラリー ③	
西部地域	三原1～5丁目、西弁財1・2丁目、東弁財1～3丁目、泉水1～3丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字浜崎の一部	弁財市民センター 会議室 ⑤	リゾンコミュニティ ギャラリー ⑥	弁財市民センター 会議室 ⑤	産業文化センター 研修室 第1・2・3 ③
東部地域	岡1～3丁目、根岸台1～8丁目、仲町1・2丁目、大字岡、大字根岸、大字台、大字溝沼の一部	東朝霞公民館 第1・2会議室 ⑦	東朝霞公民館 第1・2会議室 ⑦	東朝霞公民館 第2会議室 ⑦	
南部地域	本町1～3丁目、溝沼1～7丁目、幸町1～3丁目、栄町1～5丁目、青葉台1丁目、膝折町1・2・5丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字膝折、基地跡地、陸上自衛隊 朝霞駐屯地	市役所 大会議室 ⑧	市役所 大会議室 ⑧	市役所 大会議室 ⑧	

開催の目的

地域で取組むまちづくりのファーストステップとして、地域の「良いところ」と「改善したいところ」を議論するとともに、各地域で出た意見を共有する。

開催概要

【日時】

4月26日（土）10:00～12:00

【開催場所と参加人数】

内間木地域：上内間木町内会館（2人）

北部地域　：産業文化センター（4人）

西部地域　：弁財市民センター（8人）

東部地域　：東朝霞公民館（5人）

南部地域　：市役所（4人）

～プログラム～

時間	所要時間	内容
10：00	15分	開会挨拶・趣旨・都市マス・ワークの説明
10：15	10分	地域カルテの説明
10：25	65分	グループワーク
11：30	25分	各地域の議論結果の共有と講評
11：25	5分	アンケート記入・今後の予定確認

「開会挨拶～ワークの説明」と「グループワークの発表と講評」の時間は各地域をウェブで繋いで行いました

グループワークの内容

【テーマ】

地域の良いところと改善したいところを話し合おう

【議論の手法】

問いかけ

【議論の進め方】

1　問いかけ

進行役が参加者に対して、「設問ボード」を見せながら「問いかけ」をする。

2　問いかけに対する回答

参加者は「問いかけ」に対する自分の考えを書いたふせんをグループ内で共有し、「設問ボード」に貼る。

①と②を繰り返す

3　シール張りタイム

「質問ボード」ごとに、共感できる内容が書かれているふせんや、参考になったと思う意見が書いてあるふせんにシールを貼る。

4　各地域の議論結果の共有

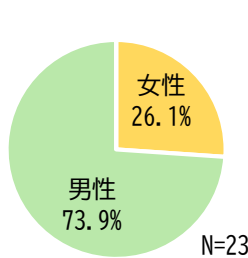
各地域をウェブで繋ぎ、議論の結果を共有する。

～議論結果の共有の様子～

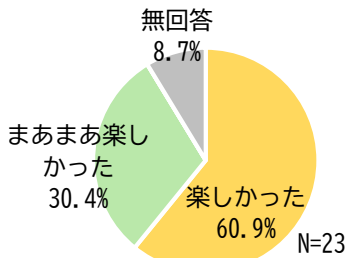


振り返りアンケートの結果

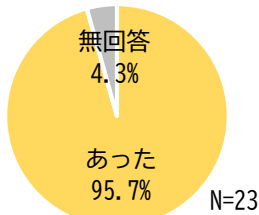
〈性別〉



〈 本日は楽しめましたか 〉



〈 地域のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか 〉



〈 新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください 〉

まちづくり

- ・古い商店街を活用したい。(北部地域)
- ・水害の被害や町内会の存続の危機があることから、地域内での助け合いが必要だと思った。(西部地域)

グループワーク

- ・他の地域の問題は知らないことが多いと思った。(内間木地域)
- ・他の人の考えが聞けて良かった(北部地域)
- ・話し合いのなかで「残したいもの」や「欲しいもの」が見えてきた。(西部地域)
- ・参加者同士が同じような悩みをもっていることが分かった。よい意見を活かしてもらいたい。(東部地域)
- ・これまで知らなかったことが沢山あった。(東部地域)
- ・地域ごとに特徴があることがより分かった。(南部地域)

〈 感想 〉

まちづくり

- ・とても勉強になり、地元を良くしたいという気持ちが高まった。(北部地域)
- ・まちを良くするのは、行政と市民の話し合いが大切と思う。市の職員の方と共に話し合いでき、有意義な時間だった。(西部地域)
- ・地域の知らないところを知れて良かった。今後、東部地域はもちろん、朝霞市全体が発展すると嬉しい。(東部地域)

グループワーク

- ・各テーマについて、同じ地域に住む方と会話できたことが有意義だったと思う。(西部地域)
- ・参加者の年代の幅が広がったたので、共通項もあれば、逆の考え方、あるいは個別課題もあった。(東部地域)
- ・人によって、感じている魅力が異なっていたり、同じ意見が出ていて楽しかった。地域の特徴なども聞けて良かった。(東部地域)

その他

- ・参加者をもっと集めたい(内間木地域)
- ・各地域をウェブでつなぐのが良かった。(南部地域)

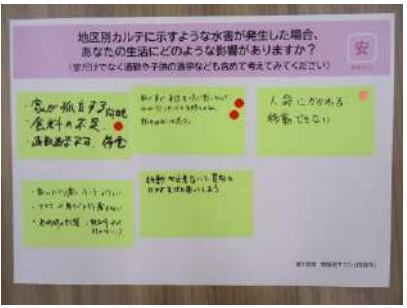
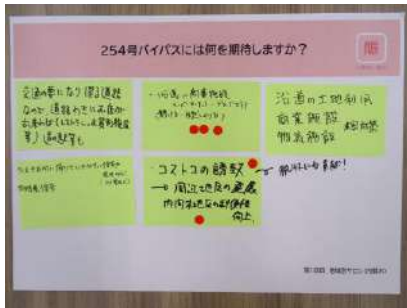
内間木地域のまとめ

内間木地域の「良いところ」としては、「自然」に関するキーワードが多く挙げられました。254号バイパスの活用に関する議論もありました。一方、「改善したいところ(課題)」では、「水害」や「交通の不便さ」が挙げられました。

【ワークショップの様子】



【設問ボードの記入例】



全体

設問
地域のなかで、あなたが一番好きな場所はどこですか？その理由も合わせて教えてください。



意見の要点
荒川の堤防や新河岸川などの自然に関する場所が挙げられました。

全体

設問
この地域の特徴を表すキーワードを5つ挙げてください。



意見の要点
254号バイパスやバスなどの交通や自然、水害に関するキーワードが多く挙げられました。

暮らし

設問
あなたはこの地域に住み続けようと思いますか？ そう思う（思わない）理由は何ですか？（この地域に住んでいない方は、この地域に住んでみたいと思いますか？）



意見の要点
交通や水害に関する懸念点が挙げられましたが、治水対策が進むようであれば、内間木地域に進み続けたいという意見への賛同がありました。

賑わい

設問
254号バイパスには何を期待しますか？



意見の要点
沿道の土地利用の活用について議論されました。例えば商業施設の誘致によって、周辺地区の発展や内間木地区の利便性が向上するという意見がありました。

移動

設問
地域のなかで、普段移動するうえでの問題点は何ですか？



意見の要点
バスの本数が少ないこと、バス停までのアクセス性が良くないことが挙げられました。

持続可能

設問
この地域らしさを感じる自然や緑・水の資源はどこにありますか？



意見の要点
荒川や新河岸川が挙げられました。荒川の草木が整備されている一方、新河岸川の整備が不十分であるという意見への賛同がありました。

安心・安全

設問
地区別カルテに示すような水害が発生した場合、あなたの生活にどのような影響がありますか？（家だけでなく通勤や子供の通学なども含めて考えてみてください）



意見の要点
「移動」に視点を当てた議論がされました。水害によって「移動」が制限され、食糧不足や孤立住宅が発生する可能性があるという意見が挙げられました。

ワークショップで出された意見
・荒川の堤防→自然が豊かだから
・荒川や新河岸川→自然が多く残っているから
・内間木神社→おごそかな気持ちになれるから
・荒川沿いの土手道→散歩等に良いと感じるから
・荒川の土手や公園→のびのびできるから

ワークショップで出された意見
・みどり、交通の不便さ、川、内水、 254号バイパス
・河川、事業所の多さ、車社会、浸水被害、地縁の強さ
・自然、芸術、 254号バイパス、水害、内間木公園
・水害に弱い、自然が豊か、農地の減少、254号バイパス、交通環境が不便
・道路の浸水、トラックの走行による路面の早期劣化、人口の停滞、歩道整備が不十分 など

ワークショップで出された意見
・そう思う →治水対策が進むようであれば、自然が残る内間木地区に住み続けたい
→自然が豊か・254号バイパスが開通すれば住み続けたい
・そう思わない→生活、交通が不便だから
→浸水の心配がない高台に移り住みたいから
→住民数が少ないので、地域役が不足し兼任の仕事が増えるから

ワークショップで出された意見
・交通の要になり得る道路なので、沿道にお店や道の駅等を誘致する
・沿道に商業施設やスーパーマーケット、ドラッグストアを誘致する
・沿道の土地利用として商業施設や物流施設を誘致し、水害対策を行う など

ワークショップで出された意見
・バス停が遠く、わくわく号の便数が少ない
・既存道路に対して通行する車両のサイズが大きい
・電車に乗るために車を利用すると、駐車場のコストがかかる
・年をとってきた時に、何で移動するのか（車？自転車？徒歩？） など

ワークショップで出された意見
・荒川の河川敷、堤防、水田、神社
・荒川はそれなりに整っているが、新河岸川は草が多い
・荒川、新河岸川、内間木神社

ワークショップで出された意見
・家が孤立する、食料不足、通勤通学ができなくなる、停電
・移動できなくなる（家にたどり着くルートがない、車が家までたどり着けない）
・数日間水が引かない
・移動ができないと買い物に行けず、生活に困る など

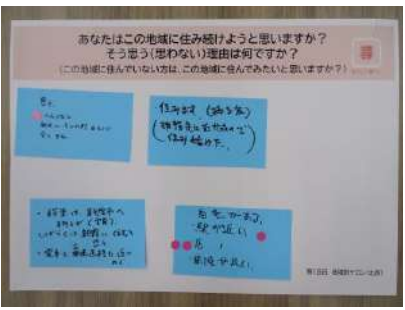
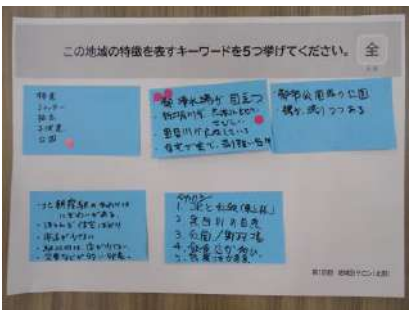
北部地域のまとめ

北部地域の「良いところ」としては、黒目川の自然や地域内にある公園等が挙げられ、この地域に住み続けたいかに対しては全員が「そう思う」と回答しました。一方、「改善したいところ(課題)」では、歩道の狭さや住宅の密集、治安面での不安を指摘する意見がありました。

【ワークショップの様子】



【設問ボードの記入例】



全体

設問

地域のなかで、あなたが一番好きな場所はどこですか？その理由も合わせて教えてください。



意見の要点

黒目川や公園（植林公園）等が挙げられました。

全体

設問

この地域の特徴を表すキーワードを5つ挙げてください。



意見の要点

都営浄水場が目立つ、黒目川の自然、駅周辺の飲食店等の賑わいとそれ以外の住宅地との格差、住宅密集地の存在、等が挙げられました。

暮らし

設問

あなたはこの地域に住み続けようと思いますか？ そう思う（思わない）理由は何ですか？（この地域に住んでいない方は、この地域に住んでみたいと思いますか？）



意見の要点

北部地域に住み続けよう思っている方が殆どでした。

賑わい

設問

駅周辺以外で、産業活動や経済活動、市民交流の観点から大事な場所はどこですか？



意見の要点

朝志ヶ丘の商店街や、市民センター等が挙げられました。

移動

設問

地域のなかで、普段移動するうえでの問題点は何ですか？



意見の要点

バスの便が少ないことや、街灯が少なく夜間の道が暗いことが挙げられました。

持続可能

設問

この地域らしさを感じる自然や緑・水の資源はどこにありますか？



意見の要点

黒目川や北割公園等が挙げられました。

安心・安全

設問

地区別カルテに示すような水害が発生した場合、あなたの生活にどのような影響がありますか？（家だけでなく通勤や子供の通学なども含めて考えてみてください）



意見の要点

水害に影響のない場所を選んで住んでいるので問題はないが、自動車等の通行ができなくなるといった意見が挙げられました。

ワークショップで出された意見

- ・浜崎団地前の植林公園→子供たちや新米ママさんの楽しそうな姿や地域ねこを見かけるから
→ 草花があるから
- ・黒目川の左岸→空間の広がり心地よいから
- ・黒目川→四季を感じるから

ワークショップで出された意見

- ・格差、シャッター、孤立、子供達、公園
- ・都浄水場が目立つ、新河岸川が志木に比べ寂しい、黒目川が広々としている、住宅が密で通るのが難しい箇所がある、緑が減りつつある
- ・北朝霞駅のまわりは賑わいがある、ほとんど住宅ばかり、歩道が少ない、駅以外は店が少ない、空巣などが多い印象
- ・JRと私鉄（東上線）、黒目川の自然、公園、野球場、飲食店が多い、密集地がある

ワークショップで出された意見

- ・そう思う
→便利だと感じるから
→住宅を購入したから
→電車や高速道路へのアクセスがよい
→自然がある、駅が近い、店が近い、病院が近い

ワークショップで出された意見

- ・市民センター、産業文化センター
- ・児童館
- ・公園はできれば芝生が良い
- ・まだがんばってる店を応援している（例：朝志ヶ丘商店街、鳥新（焼き鳥）、イトウバーカリー）

ワークショップで出された意見

- ・歩道が狭いのが怖い
- ・前官戸交番の交差点
- ・バスの便が少ない
- ・夜になると暗い道が多い
- （ガードレールがきれているので、横断歩道以外のところから歩行者の横断がある）

ワークショップで出された意見

- ・北割公園（特にさくらが素晴らしい）
- ・黒目川
- ・荒川

ワークショップで出された意見

- ・未知の世界なので恐怖と不安しかない、物流がとまったりするとどうしよう、溝沼とか心配
- ・自分は影響無い（場所を選んだから）
- ・通行できない（水没で命の危険だから）
- ・車が通行できなくなる

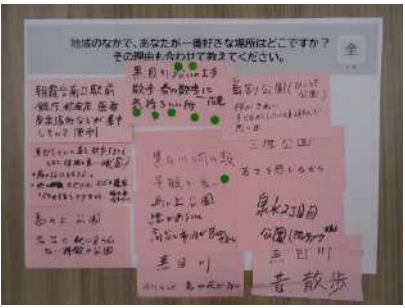
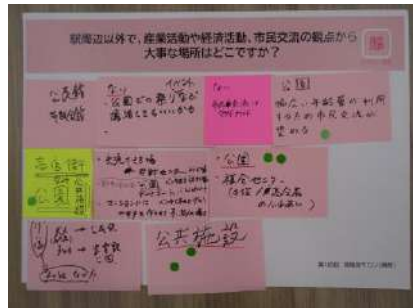
西部地域のまとめ

西部地域の「良いところ」としては、黒目川などの市を代表する場所のほか、島の上公園などの地域固有の資源が挙げられました。住み続けたい理由としても、高台で風景がよいことが挙げられていました。一方、「改善したいところ(課題)」では、道路の幅員の狭さや災害に関する懸念点が挙げられました。

【ワークショップの様子】



【設問ボードの記入例】



全体

設問
地域のなかで、あなたが一番好きな場所はどこですか？その理由も合わせて教えてください。



意見の要点
黒目川沿いで、季節を感じる散歩にいい場所として多く挙げられました。また、島の上公園をはじめとする地域内の公園も、景色がいいことや子供の遊び場といった理由で多く挙げられました。

全体

設問
この地域の特徴を表すキーワードを5つ挙げてください。



意見の要点
密集、歩道がない、道が狭い、自然（緑）は複数挙げられました。

暮らし

設問
あなたはこの地域に住み続けようと思いますか？ そう思う（思わない）理由は何ですか？
（この地域に住んでいない方は、この地域に住んでみたいと思いますか？）



意見の要点
住み続けたいと思う人が大半であり、理由としては黒目川、農地などがあり、高齢者にとっては静かな住宅地といえるほか、交通の便がよいことが挙げられました。

賑わい

設問
駅周辺以外で、産業活動や経済活動、市民交流の観点から大事な場所はどこですか？



意見の要点
現時点では特にないが、既存の公園にそのような場所として使えるとよいという意見が複数挙げられました。ほかにも公民館や児童館などの公共施設を追加してほしいといった要望もありました。

移動

設問
地域のなかで、普段移動するうえでの問題点は何ですか？



意見の要点
歩道が狭いこと、バスの便が少なく利用に不便なことは挙げられました。

持続可能

設問
この地域らしさを感じる自然や緑・水の資源はどこにありますか？



意見の要点
黒目川は最も多く挙げられており、他には公園、畑、第5小学校も挙げられました。

安心・安全

設問
普段の生活のなかで、まちの「安全・安心」に関して不安に思っていることはなんですか？



意見の要点
災害について、溝沼地区においては水害の恐れがあり、地区内に密集市街地が多く地震・火災に脆弱であることが挙げられました。交通について、歩道が少ないことが挙げられました。

ワークショップで出された意見

- ・目黒川沿いの土手→散歩、春の花見に気持ちいい所
- ・きた割公園（飛行機公園）→桜がきれい、子供が小さい頃遊んだ思い出
- ・朝霞台南口駅前→銀行、飲食店、医者、出張所などが集中していて便利
- ・島の上公園や高台で他に見られない特徴の公園だから など

ワークショップで出された意見

- ・密集、マンション、歩道がない、道が行き止まり、公園がある（小規模の）、緑、乗降客、畑子供、ホンダ、交通安全
- ・自然、公園、交通、食 ・建物が密集しており空が狭く感じる、道路が狭い、緑が少ない など

ワークショップで出された意見

- ・そう思う →利便性と環境、緑地が両立している
→平たんなので移動がラク、スーパーも徒歩圏にある
→知人が多い、助けられている、高台で風景よい、よく声かけてくれる
- ・そう思わない→職場が都内にあるから、もう少し近くに住みたい
→子供のための施設が充実した場所がいい など

ワークショップで出された意見

- ・公園、幅広い年齢層が利用するため市民交流が望める公民館、市民会館
- ・商店街、公園、公共施設、空地
- ・公園、複合センター（子供/高齢者のふれあい）
- ・公共施設
- ・公民館、市民会館 など

ワークショップで出された意見

- ・公共交通（バス運行時間本数）、歩道が狭い
- ・公共交通の問題、高齢になると病院をはじめ、移動手段がほとんどタクシー
- ・バス路線少、道路狭い、公共交通ない など

ワークショップで出された意見

- 目黒川、目黒川公園、畑、目黒川通りの並木道、第5小学校、公園（北割、弁財、島の上）畑（泉水）野火止め用水あと など

ワークショップで出された意見

- ・浸水、歩道の確保、小学生通学路の安全確保
- ・市道7号線、二本松通りの歩道の狭さ、子供載せ自転車のマナー
- ・地震、水害に弱い密集市街のマンションの老朽化
- ・溝沼地区の水害、狭い道での交通事故
- ・交通事故の危険、子供が放課後に遊ぶ場所が少なく社会性が欠けてしまう、駅の整備 など

東部地域のまとめ

東部地域の「良いところ」としては、地域内の公園や住環境の良さが挙げられ、この地域に住み続けたいかに対しては全員が「そう思う」と回答しました。一方、「改善したいところ(課題)」では、バスやシェアサイクルなどの移動手段の充実や災害時における安全対策の懸念についての議論がありました。

全体

設問
地域のなかで、あなたが一番好きな場所はどこですか？その理由も合わせて教えてください。



意見の要点
水久保公園や向山公園、黒目川沿いなど、緑があり季節の変化を感じるられる場所として挙げられました。また、祭りやイルミネーションなどで使われる駅前も好きな場所として挙げられました。

全体

設問
この地域の特徴を表すキーワードを5つ挙げてください。



意見の要点
静かな住宅地、畑や斜面林などの緑が多い、道路が狭い、交通の便が良い、大型商業施設があるは複数挙げられました。

暮らし

設問
あなたはこの地域に住み続けようと思いますか？ そう思う（思わない）理由は何ですか？
（この地域に住んでいない方は、この地域に住んでみたいと思いますか？）



意見の要点
全員が住み続けたいとの意見でした。主な理由として、畑や緑が残されていて住環境が良いこと、交通の利便性が良いことなどが挙げられました。一方で、道路が狭い、商業が弱い、居場所が少ないなどの課題も挙げられました。

賑わい

設問
駅周辺以外で、産業活動や経済活動、市民交流の観点から大事な場所はどこですか？



意見の要点
市民交流の観点から公民館や図書館などの多世代が集まれる場所、産業・経済活動の観点からはIC周辺の商業施設や物流倉庫が挙げられました。

移動

設問
地域のなかで、普段移動するうえでの問題点は何ですか？



意見の要点
道が狭く歩道がないこと、バス網はあるものの本数が少ないこと、シェアサイクルのポートが限定的であることなどが挙げられました。

持続可能

設問
この地域らしさを感じる自然や緑・水の資源はどこにありますか？



意見の要点
根岸台自然公園、水久保公園、城山公園、黒目川が複数挙げられました。

安心・安全

設問
地区別カルテに示すような水害が発生した場合、あなたの生活にどのような影響がありますか？（家だけでなく通勤や子供の通学なども含めて考えてみてください）

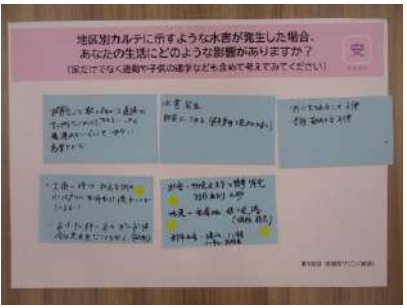
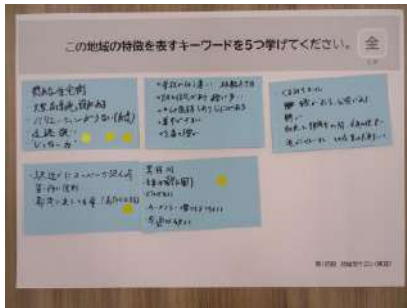


意見の要点
洪水浸水の範囲は限定的だが、大雨の際は鉄道を横断するガード下への浸水や、斜面地での土砂流出などがこれまで発生しており移動に支障をきたしていることが挙げられました。水害以外にも、道路が狭く、住宅が密集しているため地震による避難路の閉塞や延焼のリスクがあることが挙げられました。

【ワークショップの様子】



【設問ボードの記入例】



ワークショップで出された意見

- ・向山公園→スカイツリーが見える
- ・水久保公園の坂道→両側に緑があり季節の変わりがわかる
- ・朝霞駅東口→祭りやイルミネーションなどで使われているから など
- ・黒目川の土手の桜→桜を楽しめる

ワークショップで出された意見

- ・静かな住宅街、大型商業施設がある、バリエーションが少ない（商業）、道路狭い
- ・駅近くにスーパーが沢山有、買い物に便利、都内に出るのも楽（急行が止まる）
- ・黒目川、緑が多い（公園）、ビルがない、カーブミラー増やしてほしい、歩道が狭い など

ワークショップで出された意見

- ・そう思う →緑も多いし、一寸歩くと畑があり、のんびりと過ごせるまち →環境が良いから（日当たり） →まちが静か、治安が良い、公園がある、交通手段（バス・鉄道・自家用車）が選べる
- ・そう思わない→商業が弱い →居場所（パブリックスペース）がない など

ワークショップで出された意見

- ・商業施設や物流系（雇用と娯楽の観点から）、個人店など娯楽が欲しい
- ・高齢者がいつでも出入りできる場所や、ブラっと行っておしゃべりしたりできる所ほしい
- ・既存のもの:カインズ（経済の理由） / 願望：根岸周辺、病院、コンビニ、飲食店 など

ワークショップで出された意見

- ・わくわく号の本数が増えればいいと思う
- ・道が狭いので危険、歩道がない、家の植栽が道路にはみでてる、カーブミラーが絶妙に足りない、住宅の外構の壁などで見通しが悪い、車のはみでてる など

ワークショップで出された意見

- 根岸台自然公園の緑や坂（台地）、黒目川、城山公園、水久保公園、根岸台自然公園 城山公園、わき水がある など

ワークショップで出された意見

- ・水害の影響で電車が止まり、徒歩帰宅になる
- ・7丁目あたり土砂・地震、密集地、狭い道路（消防、救急）、都市水害、八潮、トンネル、高低差
- ・外に出られなくなるため不便になる
- ・根岸台から駅に向かう道路のアップダウンしている場所で冠水すると通行できないらしい
- ・避難場所が遠い など

南部地域のまとめ

南部地域の「良いところ」としては、自然や歴史があり、住み心地が良いことが多く挙げられ、地域の特徴を表すキーワードでは、すべて地域の良いことが挙げられました。一方、「改善したいところ(課題)」では、坂が多いことやバスの本数が少ないことなどから、高齢者が出歩ける環境づくりについての議論がありました。

全体

設問
地域のなかで、あなたが一番好きな場所はどこですか？その理由も合わせて教えてください。

意見の要点
シンボルロード等の市を代表する場所のほか、膝折の坂の上からの景色など、地域固有の景観資源を挙げる意見もありました。

全体

設問
この地域の特徴を表すキーワードを5つ挙げてください。

意見の要点
自然あり、歴史あり、住み心地が良いなど、挙げられたキーワードはすべてが良いこと（プラス）に関するものでした。

暮らし

設問
あなたはこの地域に住み続けようと思いますか？ そう思う（思わない）理由は何ですか？
（この地域に住んでいない方は、この地域に住んでみたいと思いますか？）

意見の要点
ほとんどが住み続けたいという意見ですが、高齢者になると坂が辛いことから住み続けたいとは思わないとの意見もありました。

賑わい

設問
駅周辺以外で、産業活動や経済活動、市民交流の観点から大事な場所はどこですか？

意見の要点
公共施設以外で地域で交流できるような場所（例えば居酒屋のような）が大事であるが、そのような場所が少なくなってしまうという意見がありました。

移動

設問
地域のなかで、普段移動するうえでの問題点は何ですか？

意見の要点
道が狭いこと、坂が多いことが問題となっており、それらを考慮した公共交通の確保が求められます。

安心・安全

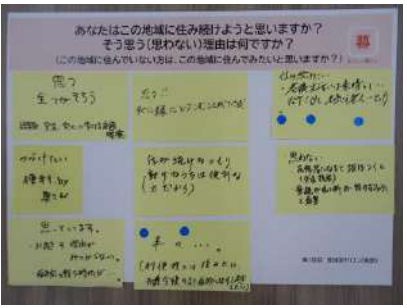
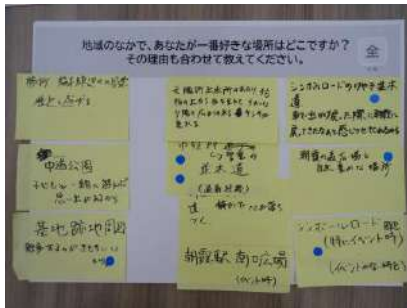
設問
普段の生活のなかで、まちの「安全・安心」に関して不安に思っていることはなんですか？

意見の要点
交通安全（歩道がない、狭い）、災害への対応（火災対応や災害時のコミュニティ体制）、高齢化へ不安（出歩ける環境づくり）が挙げられました。

【ワークショップの様子】



【設問ボードの記入例】



ワークショップで出された意見

- ・市役所⇔警察の並木道（通勤道路）
- ・シンボルロードのけやき並木道→出かけから戻った際に朝霞に戻ってきたと感じさせてくれるから
- ・朝霞の森広場と自然豊かな場所
- ・基地跡地周辺→散歩するのが気持ちいいから
- ・膝折→脇本陣辺の風景や歴史を感じる
- ・元膝折上水所の辺り→タ方板の上から西を見ると、きれいな夕陽と広がりのある景色が見れる など

ワークショップで出された意見

- ・コンパクトシティ、あさかセントラルパーク、みどりとみずのある街、歩きたくなる街、N.Y. Paris. Asaka.
- ・ファミリー、子ども多い、公共施設多い、駅のにぎわい、都市と自然の融合、
- ・けやき通りと跡地（森）、宿場町と歴史
- ・坂、駅近のみど里、マンション、新旧（住、工、商、人）
- ・自然、歴史、朝霞市の中心（公共的）、環境の良さ、住宅地
- ・公園、ファミリー世帯、住宅多い、緑あり+生活しやすい など

ワークショップで出された意見

- ・そう思う → 老後生活には素晴らしい街（ただし、元気な老人にとって）
→ 動けるうちは便利な方だから
- ・そう思わない→ 高齢者になると坂は辛い（交通弱者）
- ・半々 → 利便性では住みたい、今後の計画的には引越したい など

ワークショップで出された意見

- ・川の交叉辺りの整備と保全（田島緑地）
- ・市民会館、公民館、シンボルロード、あさかの森、市役所前広場、公園
- ・膝折宿、地域交流の場所、居酒屋
- ・駅周辺でたむろする場所が今ない など

ワークショップで出された意見

- ・道が狭い（歩道の確保）、バス本数が少ない、夜間は時に自転車が多い
- ・公共バスに代わりえる乗り物が必要
- ・車が多い、10km/hほどで走る（狭い道） など

ワークショップで出された意見

- ・歩道環境がない、狭い→自転車の走行が怖い
- ・町なかに椅子が必要
- ・防災体制が十分ではない、町内会活動の低滞、町内会加入人数の減少
- ・火災時の消防車、倒れた時の救急車